

LDR-H443SU2 V01

Ultra SCSI & USB 2.0 DVD-RAM ± R/RW UNIT

LDR-H443SU2

SCSI & USB 2.0 DVD-RAM ± R/RWドライブユニット
ユーザーズマニュアル

Logitec

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は本製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、
項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft社の米国およびその他の国での登録商標です。Pentium®は米国Intel社の登録商標です。B's RECORDER GOLD、B's CLiP、B's ラク～だ！バックアップは、株式会社BHAの商標です。PowerDVD™およびPowerDirector™はサイバーリンク社の米国およびその他の国での登録商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

目次

ご使用の前に	4
取扱い上のご注意	4
使用上のご注意	8
付属品の確認	13
製品の特徴	14
各部の名称と機能	18
設置方向について	20
使えるようになるまで	21
本製品の接続とDVD-RAM ドライバのインストール	21
SCSI 接続の手順	21
USB 接続の手順	28
接続後の手順	30
USB ドライバのインストール	31
「SoftwarePack」CD-ROM について	33
DVD-RAM ドライバのインストール	34
DVD-RAM ドライバのインストール結果の確認	39
ソフトウェアのインストール	41
ソフトウェアのご紹介	41
インストール方法	43
取り扱いについて	54
メディアのセットと取り出し	54
取り外しについて	56
使用方法について	58
DVD-RAM メディアの取り扱い	59
フォーマット方法	59
DVD-RAM メディアへの書き込み禁止・許可	64
パソコンのデータを書き込むには	66
映像を書き込むには	67
ソフトウェア使用上の注意	70
ソフトウェアのマニュアルを参照するには	73
補足説明	74
使用可能メディアとサポート形式	74
トラブルシューティング	75
使用環境について	78
オプション品について	81
ハードウェア仕様	84



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	<p>この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。</p>
 注意	<p>この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。</p>



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

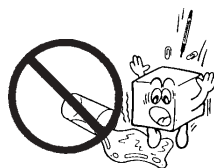
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



⚠ 警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。
分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

電源コードは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様手の届く場所へ放置しないでください。

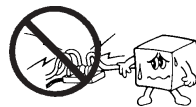
機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



⚠ 注意

電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。

タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。

束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



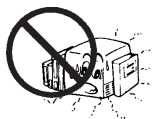
⚠ 注意

本製品の稼動中に電源コード、ケーブル類を抜かないでください。
データの損失、機器の故障の原因となります。



その他の
禁止事項

ファンはき出し口（通風孔）はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因となります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。




その他の
強制事項

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項


注意

火災予防のため、電源コネクタは定期的に掃除をしてください。



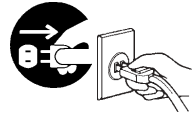
その他の
禁止事項

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。

1-2-3-4-5



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げててください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換/保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください



その他の
注意事項

使用上のご注意

本製品の取り扱いについて

設置時のご注意

本製品およびケーブル類の接続端子部分には触れないでください。(故障の原因になります)

移動・輸送時のご注意

本機を移動するときは、ディスクを取り出し、トレイを閉じた後、必ず本製品の電源コード、SCSIケーブルまたはUSBケーブルを取り外してください。

本機を移動や輸送するときは、落としたり、ぶついたりしないでください。

使用するとき

カートリッジ付きのDVD-RAMメディアをご使用の際は必ず、カートリッジから取り出した状態でセットしてください。

トレイを出したまま放置しないでください。内部にホコリが入り、故障の原因となります。

トレイには本製品で使用可能なメディア以外はセットしないでください。(故障の原因となります)

8cmディスクを使用するときは市販の8cmアダプタは使用しないでください。

本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。(磁気の影響で、動作が不安定になることがあります)

本製品が結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着(結露)し、誤動作、故障の原因になります。

揮発性の殺虫剤などがかからないようにしてください。(外装ケースの変形や、塗装がはげる原因になります)

隣接しているテレビやラジオに雑音が入るときは、2m以上離すか、コンセントを別にしてください。

お手入れについて

レンズ、ディスクのお手入れ

長時間使用すると、本製品のレンズ、ディスクにほこりが付着して、正常に読み書きできなくなる恐れがあります。

使用環境や使用回数によって異なりますが市販のレンズクリーナーやディスククリーナーなどを用いて、約1年に一度お手入れをすることをお勧めします。

本機表面のお手入れ

汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤(中性)を布に浸し、よく絞ってからふいてください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わないでください。

トレイ部のお手入れ

本製品トレイ部の汚れがひどいときには、ディスクのクリーニングとあわせて、トレイ部の清掃をお願いします。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

メディアの取り扱いについて

正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われず、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、等の障害が発生する場合があります。

4.7GB DVD-RAMメディアのカートリッジなし、およびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したメディアや8cm DVD-RAMメディア、DVD+R、DVD+RW、DVD-R (for General)、DVD-RW (4.7 GB Ver.1.1)、CD-R、CD-RW等のメディアをご使用の際は本ユーザーズマニュアルやご使用のメディアの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

本製品に装着したDVD-RAMメディアがフォーマットできない場合や正常に書き込みが終了しない場合は、いくつかの原因が考えられます。「フォーマット方法」(59ページ)をご参照ください。

メディアの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。

本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

DVD-RAM メディアの種類

DVD-RAMは「記録できるDVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルメディアです。

DVD-RAMメディアには以下のタイプがあります。

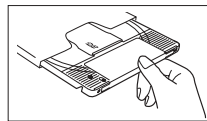
- TYPE1** : カートリッジからメディアの取り出しはできません。(本製品では使用できません)
- TYPE2** : 片面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)
- TYPE4** : 両面のメディアで、カートリッジからメディアの取り出しができます。
(カートリッジから取り出した状態で本製品で使用可能です。)

カートリッジなしタイプのDVD-RAMメディアも市販されています。

TYPE2、TYPE4 DVD-RAM メディアの取り扱い

次のような所には置かない

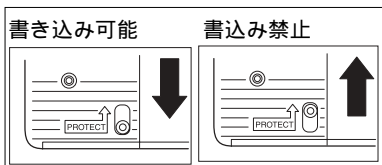
- ゴミやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高いところ、直射日光のあたる所。
- 温度差の激しい所。



☒

取扱い上のお願い

- メディア表面に触れない。
- 落としたり、曲げたり、重いものを乗せない。
- はがしたラベルを再度貼らない。
- 使用しないときはカートリッジに収めケースに入れて保管する。(右図)
- 定期的にバックアップ(データの複製)を行う。
- 大切なデータを保護するときはカートリッジ収納時に「書き込み禁止」にしておく(右図)。
- ただし、このようにしている場合もカートリッジから取り出した際に書き込みを制限できるものではありません。

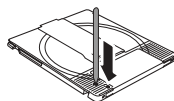


☒

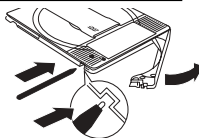
メディアの取り扱いについて（続き）

TYPE2 カートリッジからメディアを取り出す場合

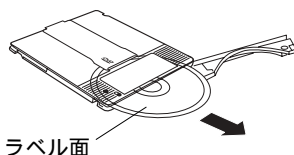
- 1 カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。



- 2 カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。



メディアを収納するときは

カートリッジのデザイン面とメディアのレーベル面を同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。

開閉フタを開いた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱いってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしてしないでください。

レーベル面への文字の書き込みは柔らかい油性のフェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ペンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

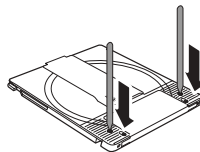
取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

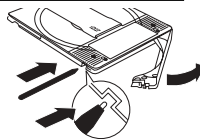
メディアの取り扱いについて（続き）

TYPE4 カートリッジからメディアを取り出す場合

- 1** カートリッジのロックピン（2ヶ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って取り除きます。

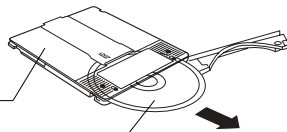


- 2** カートリッジ左手前側面にある開閉部のへこみを先の細いもので押さえ、開閉ふたを開けます。



- 3** 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、メディアを水平に取り出します。

1. カートリッジ A 面と
2. SIDE A面を同じ方向に



メディアを収納するときは

カートリッジのA面とメディアのSIDE Aを同じ向きにしてメディアをカートリッジに挿入し、開閉フタを閉じる位置まで戻します。

開閉フタを閉じた後ライトプロテクト（書き込み禁止・許可）の設定に注意してください。

取扱い上のお願い

開閉フタを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。

メディアを取り出した後のカートリッジにDVD-RAM以外のメディアを入れて使用しないでください。

メディアの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等がつかないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。

メディアにラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤などを使用しないでください。

メディアが汚れた場合は市販の専用クリーナーおよび洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。

取り出したメディアは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

メディアを落下させたり、曲げたりしないでください。

メディアの取り扱いについて (続き)

カートリッジなし DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R
DVD-RW、CD-R、CD-RW メディア

次のような場所には置かないでください。

- ゴミやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。
- 温度差の激しい場所。(結露が生じます)

取扱い上のお願い (印の注意文は、DVD-RAM のみに該当します。)

メディアをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはメディアのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。

メディアは指でメディア中央の部分の穴の部分と外側の部分をさむようにして持ってください。メディアの記録面には触らないでください。メディアは印刷されていない方が記録面となります。メディアの表面はゴミやほこり、指紋などで汚れたり傷つけたりしないでください。

また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。(書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。)

メディアの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。

メディアが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のものは使用しないでください。

キズや汚れからメディアを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースまたはカートリッジに収めてください。

メディアを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。メディアに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。

大切なデータを保護するときは、必ずライトプロテクトを設定してください。ライトプロテクトを設定するには、付属のCD-ROMに保存されているユーティリティをご使用ください。(64ページ参照)メディアのドライブへのセット方法は「取り扱いについて」の「メディアのセットと取り出し」(54ページ)をご参照ください。

DVD-ROM、CD-ROM などのメディア

次のような場所には置かないでください。

- 温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。ゴミやホコリの多い場所。
- 温度差の激しい場所。(結露が生じます)

取扱い上のお願い

汚れたり、傷つけたりしないでください。 落としたり、曲げたりしないでください。

字を書いたり、紙を貼らないでください。

メディアのドライブへのセット方法は「取り扱いについて」の「メディアのセットと取り出し」(54ページ)をご参照ください。

付属品の確認

ご使用前に以下の付属品が同梱されていることをご確認ください。

DVD-RAM±R/RWユニット	1台
SCSIケーブル	1本
USBケーブル (USB 2.0 High-Speed対応)	1本
縦置き用スタンド	1セット
横置き用ゴム足	1シート
「SoftwarePack」CD-ROM	1枚
(以下のソフトウェア・ドライバ含む)	
B's STUDIO「D」	1式
B's neoDVD	
B's Recorder GOLD BASIC	
DVD MovieAlbum SE 3	1式
PowerDirector 2.55 STD (OEM版)	1式
PowerDVD 5 (OEM版)	1式
B's CLiP for Windows	1式
B'sラク~だ!バックアップ	1式
DVD-RAM用ドライバ	
(UDFフォーマット/ドライバ)	1式
保証書/ユーザー登録カード	1枚
DVD-RAM±R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

添付のソフトウェアは全て1枚のCD-ROM「SoftwarePack」に収められています。

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

製品の特徴

本製品は、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW の各メディアに対する書き込みに対応したの DVD-RAM ± R/RW (DVD マルチプラス) ユニットです。接続インターフェースには、SCSI と USB2.0 を搭載しています。

DVD-RAM への 3 倍速での書き換え、DVD+R、DVD-R メディアへの 4 倍速書き込み、DVD+RW メディアへの 2.4 倍速書き換え、および DVD-RW メディアへの 2 倍速書き換えが可能です。()

いずれの場合も、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

本製品で対応している DVD ビデオフォーマットで書き込んだ DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW メディアは、市販の DVD プレーヤーでの再生が可能です。

DVD ビデオ作成のため、DVD オーサリングソフト、PC データ保存のためのライティングソフト、DVD 再生ソフトが添付されています。

DVD メディアのフォーマット形式として推奨される「UDF (Universal Disk Format)」に対応した DVD-RAM 用フォーマットが添付されています。また、UDF ファイルフォーマットでフォーマットを行えば、ファイルサイズの大きな画像や音声データなどの読み書きを高速で行うことができます。

従来の CD-ROM ドライブとの互換性を持っています。データ CD-ROM アクセス時には、最大 32 倍速の CD-ROM ドライブとして使用することができます。また、CD-R メディアの書き込み時には最大 24 倍速で書き込みを行い、CD-RW メディア書き込み時には最大 16 倍速で書き換えが可能です。

外装には堅牢で放熱効果に優れた一体型アルミボディを採用し、縦置き・横置きでの設置が可能です。

データ転送速度が高速な 2 種類のインターフェースをサポートし、さまざまな Windows 環境で使用することが可能です。



ご注意

- ・市販されている DVD ビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- ・市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオを再生可能なDVDプレーヤーに関する情報は、弊社ホームページ (<http://www.logitech.co.jp>) をご参照ください。
- ・本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- ・本製品はメディアの「メディアレスキュー機能」には対応していません。
- ・DVDメディアにはラベル、シール等を貼付しないでください。
- ・本製品をUSB 1.1ポートで接続する場合の機能はDVD-RAMへのパソコンデータの書き込み、DVD-ROMの読み込み、CD-R/RWへの書き込み、CD-ROMの読み込みのみとなります。DVDビデオの記録・再生などは行えませんのでご注意ください。
付属のソフトウェアを使用してDVDの記録・再生を行うためにはパソコン本体にSCSIインターフェースまたはUSB 2.0インターフェースが搭載されている必要があります。
- ・本製品をSCSIインターフェース、USBインターフェースの両方へ同時に接続することはできません。
- ・スリープモード/サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。
- ・本製品はセルフパワー(電源コードからの電源供給)で動作します。バスパワー(USBポートからの電源供給)では動作しません。

使用可能なメディア

DVD メディア

メディア名		容量	書き込み速度	読み込み速度
DVD-RAM Ver.1.0	片面	2.6 G B	-	最大 2 倍速
	両面	5.2 G B		
DVD-RAM Ver.2.1 (8cm ディスク含む)	片面	4.7GB 1.4GB	2 / 3 倍速	最大 3 倍速
	両面	9.4 G B 2.8GB		
DVD+ R		4.7GB	4/ 2.4 倍速	最大 8 倍速
DVD+ RW		4.7GB	2. 4 倍速	最大 8 倍速
DVD-R Ver.1.0		3.95GB	-	最大 8 倍速
DVD-R for Authoring Ver.2.0		4.7GB	-	最大 8 倍速
DVD-R for General Ver.2.0		4.7GB	4/ 2/ 1 倍速	最大 8 倍速
DVD-RW Ver.1.1		4.7GB	2/ 1 倍速	最大 8 倍速
DVD- Video		-	-	最大 8 倍速
DVD-ROM single		4.7GB	-	最大 12 倍速
DVD-ROM dual		8.7GB	-	最大 8 倍速

すべて、UltraSCSI 接続または USB 2.0 の High-Speed 接続時の理論値。USB 1.1 接続時は DVD-RAM メディアのみ使用可能です。その場合も、使用用途はパソコンデータの書き込み、読み込みのみとなり、速度は標準速未満に制限されます。

カートリッジに入った DVD-RAM メディアは使用できません。カートリッジから取り出して、使用してください。

DVD-RAM の書き込み/読み込み速度はメディアの種類で決まります。3倍速にて書き込み/読み込みを行う場合は、3倍速対応の DVD-RAM メディア(DVD-RAM Ver.2.1/3X-Speed DVD-RAM Revision 1.0) をご使用ください。

特色

- DVD-RAM : 繰り返しデータの書き込みができます。(約 10 万回の書き換えに対応しています。)
- DVD+R (): 一度だけ書き込みが可能な DVD メディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- DVD+RW : 書き込みや書き換えが可能な DVD メディアです。(約 1,000 回の書き換えに対応しています。)
- DVD-R (): 一度だけ書き込みが可能な DVD メディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。

- DVD-RW : 書き込みや書き換えが可能なDVDメディアです。(約1,000回の書き換えに対応しています。)
- DVD-ROM : 読み込み専用のメディアです。
- DVD-Video : 動画と音声をデジタルで記録した読み込み専用メディアです。

DVD+R、DVD-Rメディアに対して、B's Recorder GOLD BASICで追記書き込みを行うことが可能です。ただし、追記したデータは、Windows XP、Windows 2000環境でのみ読み込み可能です。

CDメディア

メディア名	書き込み速度	読み込み速度
CD-R	24 / 16 8 / 4倍速	最大 32 倍速
CD-RW	16 / 12 8 / 4倍速	最大 24 倍速
CD-ROM	-	最大 32 倍速

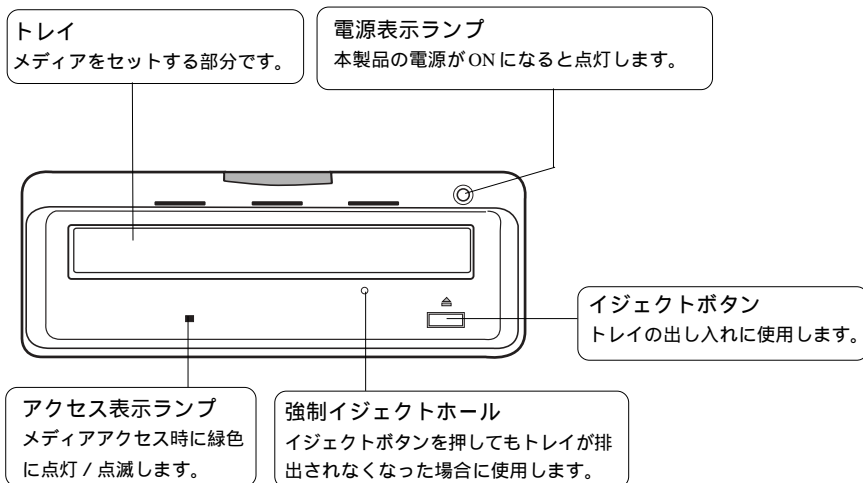
すべて、Ultra SCSI 接続または USB 2.0 の High-Speed 接続時の理論値。USB 1.1 接続時は書き込み、読み込み速度ともに 8 倍速未満に制限されます。

特色

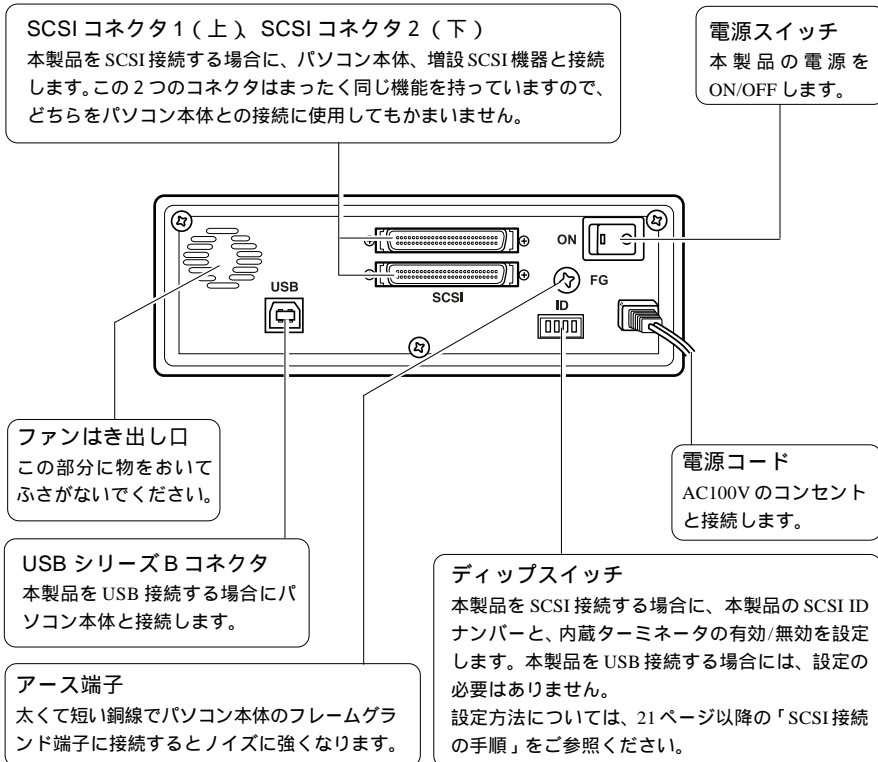
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 書き込み、書き換えが可能なメディアです。
- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽 CD まで、幅広い用途で使用されています。

各部の名称と機能

本製品前面

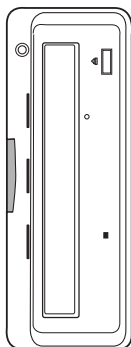


本製品背面

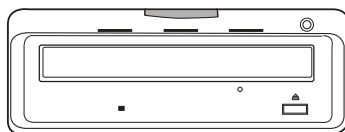


設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

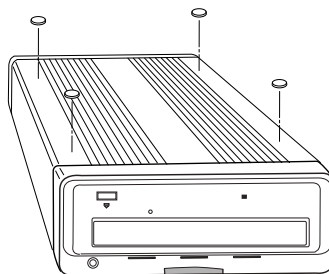
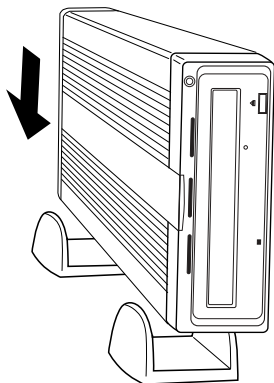


縦置きの場合



横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。（下左図）横置きの場合、底面の4箇所に付属のゴム足を貼付してください。（下右図）



上図は底面を上にするため、設置方向と逆になっていますので、ご注意ください。

使えるようになるまで

本製品の接続と DVD-RAM ドライバのインストール

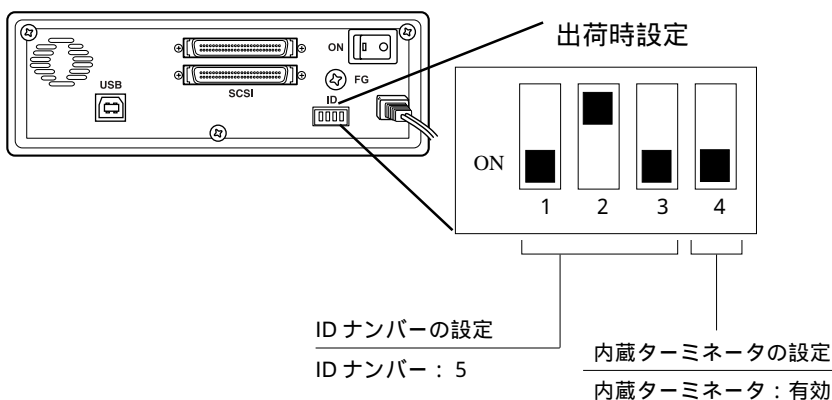
ここでは、本製品の接続と DVD-RAM ドライバのインストール手順についてご説明いたします。接続方法は、SCSI 接続の場合と USB 接続の場合で大きく異なります。そのため、接続手順についてはご使用になる接続インターフェースにあわせて、「SCSI 接続の手順」または、「USB 接続の手順」をそれぞれご参照ください。

本製品は SCSI ポート、USB 2.0 ポート、USB 1.1 ポートいずれにも接続できますが、本製品を USB 1.1 ポートへ接続した場合、データ転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなり、DVD ビデオの再生は行えません。また、CD-R/RW メディアへの書き込み / 読み込み速度は最大 8 倍速相当までに制限されます。

SCSI 接続の手順

1. 接続の前に

本製品の背面にはディップスイッチがあり、本製品の SCSI 接続に関する設定 (SCSI ID ナンバー、内蔵ターミネータの有効 / 無効) を行います。必要に応じて設定を確認 / 変更してください。(本製品以外に SCSI 機器を使用しない場合は、出荷時設定から変更する必要はありません。)



ご注意

ディップスイッチの設定を変更する場合は、本製品の電源が OFF になっている状態で変更してください。電源が ON になったままで変更しても設定は有効になりません。

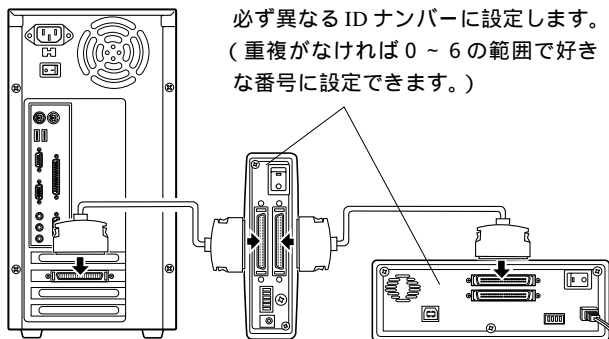
2. ID ナンバーの設定

「ID ナンバー」は SCSI 機器を区別するための番号です。「0」～「6」の範囲で任意の番号に設定できますが、併用する SCSI 機器と重複があってははいけません。(例えば、同じ SCSI インターフェースに ID ナンバー「5」に設定した機器が 2 台接続されてはいけません。どちらかを別の番号にする必要があります。)

もし、本製品以外に SCSI 機器を使用しない場合は、出荷時設定のまま、ID ナンバー「5」でご使用ください。

ID ナンバー : 0	ID ナンバー : 1	ID ナンバー : 2	ID ナンバー : 3
ON 1 2 3	ON 1 2 3	ON 1 2 3	ON 1 2 3
ID ナンバー : 4	ID ナンバー : 5	ID ナンバー : 6	
ON 1 2 3	ON 1 2 3	ON 1 2 3	

出荷時設定



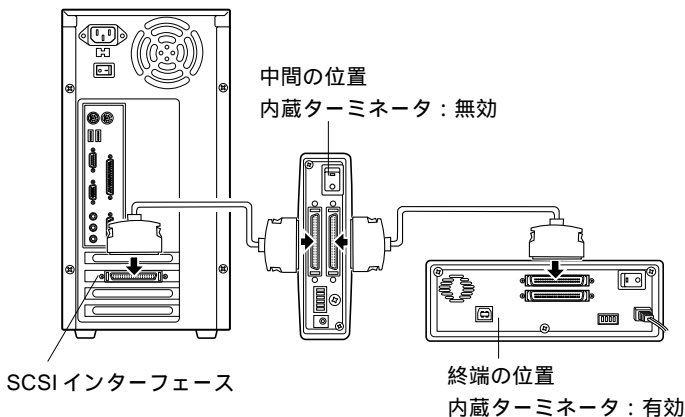
3. 内蔵ターミネータの設定

SCSI 接続では終端（SCSI インターフェースから一番遠い位置）になる機器にターミネータと呼ばれる部品を接続して、信号を安定させます。

本製品はこのターミネータを内蔵して、ディップスイッチで有効 / 無効を切り替えることができます。そのため、本製品を終端の位置に接続する場合は「有効」（出荷時設定）に、終端以外の中間の位置に接続する場合は「無効」に設定してください。

もし、本製品以外に SCSI 機器を使用しない場合は、本製品が終端となりますので、出荷時設定のまま「有効」でご使用ください。

内蔵ターミネータ：有効	内蔵ターミネータ：無効
ON 1 2 3 4	ON 1 2 3 4



ご注意

本製品と同じようにターミネータを内蔵する SCSI 機器を複数接続する場合、ターミネータは必ず終端に接続された 1 台のみ「有効」に設定してください。不要に多くのターミネータが有効になっていると、過電流で機器を損傷する場合があります。

4. 接続の手順

本製品以外に外付け SCSI 機器を併用しない場合、接続は以下でご説明する手順で行ってください。

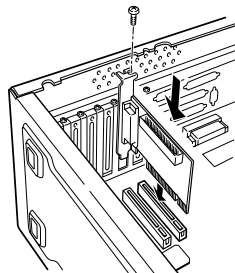
接続には、SCSI インターフェイスボードの有無、接続する SCSI コネクタの形状などによって、別売のオプション品が必要な場合があります。詳しくは「オプション品について」(81 ページ)をご参照ください。



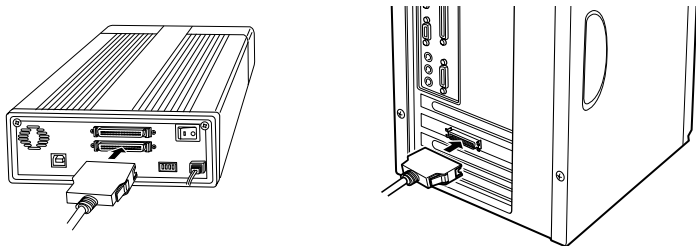
重要なお注意

- ・接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源を OFF にしてください。
また、SCSI インターフェイスボードを新規接続する場合は、必ずパソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。SCSI インターフェイスボードを接続する際に、内部ショートが発生すると電源が ON になってしまいます。危険防止のため、必ず電源コードをコンセントから外してください。
- ・本製品の SCSI インターフェイス、USB インターフェイスの両方を同時に接続して使用することはできません。
- ・本製品の SCSI コネクタは接点にピンを使用しています。そのため、ケーブルのコネクタを斜めに差し込んだり、無理に力を加えるとピンが曲がってしまいます。また、本製品で使用する D-sub ハーフピッチ 50 ピンの SCSI ケーブルを、アンフェノールハーフピッチ 50 ピンの SCSI コネクタに接続しようとするとピンが曲がってしまいます。
ケーブル接続時は SCSI コネクタの種類と方向を確認して、正面から接続してください。接続しにくい場合は、無理に力を加えないでピンが曲がっていないかどうか確認してください。

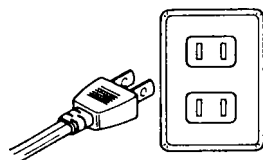
SCSI インターフェイスを内蔵していないパソコン本体の場合は、最初に SCSI インターフェイスボードを接続します。詳細については SCSI インターフェイスボードのマニュアルをご参照ください。



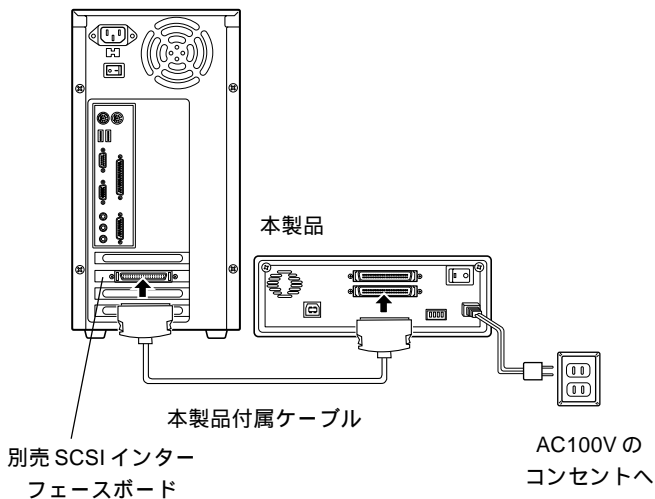
本製品に付属のケーブルでパソコン側のSCSIポートと本製品のSCSIコネクタを接続します。SCSI コネクタは2個ありますが、どちらに接続してもかまいません。コネクタを差し込んだら、軽く引いて抜けないことを確認してください。



本製品の電源コードを AC100V のコンセントに接続します。



以上で接続は終了です。下の接続図と比べて、間違っていないかどうかを確認してください。



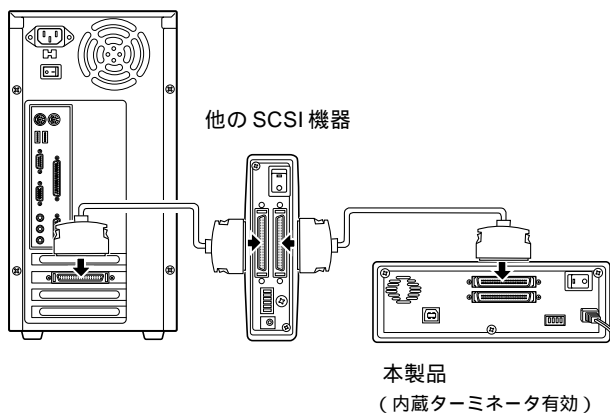
接続後は、必ず本製品の電源をONにした後にパソコンの電源をONにしてください。本製品に電源が供給されていない状態でパソコンの電源をONにするとトラブルが発生する場合があります。

この後の手順については「接続後の手順」(30 ページ)をご参照ください。

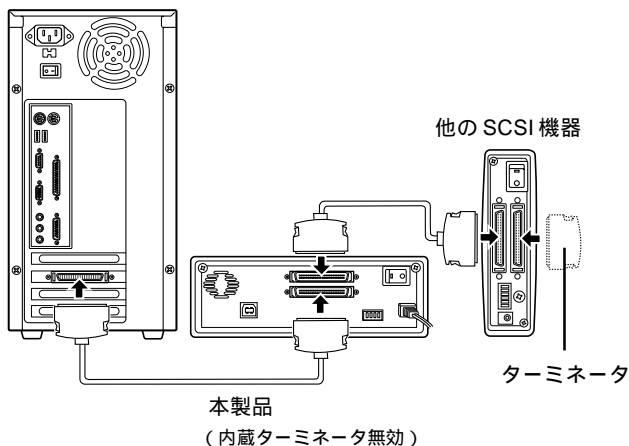
参考： 他の SCSI 機器との併用について

SCSI 規格では、複数の SCSI 機器を数珠つなぎにして 1 つの SCSI インターフェイスに接続することができます。本製品を他の SCSI 機器と併用する場合は、下の接続図のように接続してください。その際、次ページの注意事項にご注意ください。

本製品を他の SCSI 機器に増設する場合



本製品の後ろに他の SCSI 機器を増設する場合

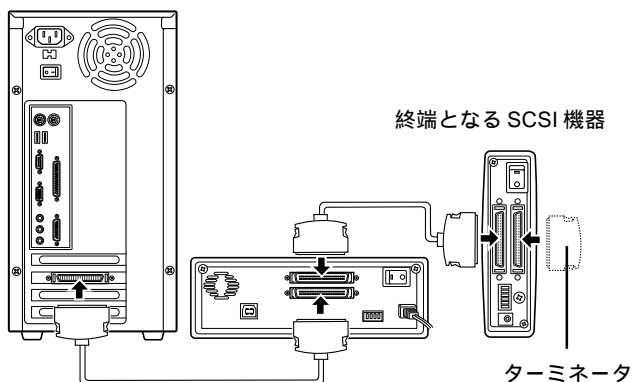


注意事項

- ・接続台数は原則的に以下の通りです。詳細についてはSCSIインターフェースボードのマニュアルをご参照ください。

UltraSCSI の場合	3 台まで
FastSCSI の場合	7 台まで

- ・ケーブル長は内蔵ケーブルも含むすべての合計が 3m 以下でなければなりません。(ケーブルは短ければ短いほど動作が安定します。)
- ・ID ナンバーは必ず重複しないように設定してください。
- ・終端となる SCSI 機器 (パソコン本体から一番遠い SCSI 機器) には、ターミネータを接続するか、SCSI 機器内蔵のターミネータを「有効」に設定してください。



ご注意

SCSI機器の中には本製品と同じようにターミネータを内蔵しているものもあります。このような機器を併用する場合は、必ず終端となる機器のターミネータだけを有効にしてください。(中間に接続された機器のターミネータはすべて無効にします。)
 不要に多くのターミネータが有効になっていると、過電流で機器を損傷する場合があります。

USB 接続の手順

1. 接続の前に

接続の際のご注意

本製品を接続する前に、以下の点をご確認ください。

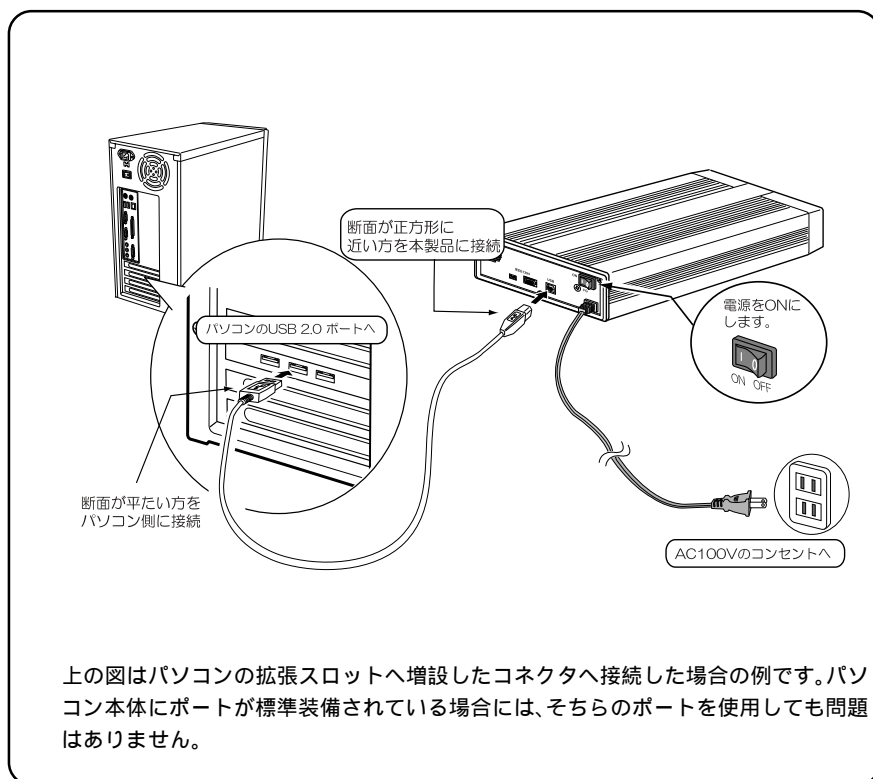
- ・ 本製品の SCSI インターフェース、USB インターフェースの両方を同時に接続して使用することはできません。
- ・ 接続の際、必ずはじめに本製品の電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・ 本製品はハブ経由では接続しないでください。ハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・ 本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・ 複数の USB 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのはやめてください。トラブルの原因となります。
- ・ パソコン本体への接続は USB 2.0 ポートへ接続することをおすすめします。USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の機能は DVD-RAM メディアへの PC データの書き込み、CD-R、CD-RW メディアへの読み込み / 書き込み、CD-ROM の読み込みのみとなります。
- ・ ご使用のパソコンに USB 2.0 インターフェースが搭載されていない場合は、別売の USB 2.0 インターフェースボードまたは USB 2.0 インターフェースカードをお求めください。詳しくは「オプション品について」(81 ページ)をご参照ください。
- ・ 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・ USB 1.1 ポートへ接続し使用する場合もなるべく本製品付属のものか USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。

2. 接続の手順

本製品の電源コードのプラグをAC100Vのコンセントに接続して電源をONにします。

付属のUSBケーブルで本製品とパソコンを接続します。

- ・本製品側とUSBシリーズBコネクタ（正方形に近いコネクタ）を接続します。
- ・パソコン側とUSBシリーズAコネクタ（平たいコネクタ）を接続します。



この後の手順については「接続後の手順」(30ページ)をご参照ください。

接続後の手順

Windows 98 Second Edition を USB 接続でご使用の場合は、接続が終了したら USB ドライバをインストールしてから、DVD-RAM ドライバおよびソフトウェアのインストールを行います。以下の順にお進みください。

- USB ドライバのインストール (31 ページ)
- 「SoftwarePack」CD-ROM について (33 ページ)
- DVD-RAM ドライバのインストール (34 ページ)
- DVD-RAM ドライバのインストール結果の確認 (39 ページ)
- ソフトウェアのインストール (41 ページ)

上記以外の環境では接続が終了したら、DVD-RAM ドライバおよびソフトウェアのインストールを行います。以下の順にお進みください。

- 「SoftwarePack」CD-ROM について (33 ページ)
- DVD-RAM ドライバのインストール (34 ページ)
- DVD-RAM ドライバのインストール結果の確認 (39 ページ)
- ソフトウェアのインストール (41 ページ)

本製品はドライバおよびソフトウェアをインストールしなければ、メディアへの書き込みをすることができません。

USB ドライバのインストール

(Windows 98 Second Edition で USB 接続時のみ)

インストール手順

接続が完了すると、本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が
選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブに本製品付属の「SoftwarePack」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェック
された状態にして

2. ここに、以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98



3. 「次へ」をクリック

Point ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。
ドライブ名はマイコンピュータを開いて「SoftwarePack」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



本製品の接続と DVD-RAM ドライバのインストール

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上で USB ドライバのインストールは終了です。

「SoftwarePack」CD-ROM について

本製品に付属の「SoftwarePack」CD-ROMには、本製品を使用するために必要なすべてのソフトウェアとドライバが納められています。

「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットすると、下のようなセットアップランチャーが起動します。このセットアップランチャー内にあるソフトウェアを上から順番にインストールすれば、本製品を使用して、映像やデータの書き込みができるようになります(下のポイントをご参照ください)。

順番にインストール



「SoftwarePack」CD-ROM 起動画面

Point ポイント

- 各ソフトウェアのボタンをクリックすると、それぞれの右のような説明画面に切り替わります。説明画面から、「インストール」ボタンをクリックすると、選択したソフトウェアがインストールされます。

すべてのソフトウェアをインストールした後は「DVD-RAMドライバのインストール結果の確認」(39ページ)でDVD-RAMドライバが正しくインストールされていることを確認してください。

そのあとは、「取り扱いについて」(54ページ)以降をご参照のうえ、本製品と付属ソフトウェアの使用方法をご確認ください。

- インストールの際、ソフトウェアによりシリアル番号やCD-keyの入力が必要な場合があります。シリアル番号またはCD-keyは本書の巻末をご参照ください。
- インストール方法がよくわからない場合は、次ページ以降の説明を参照して、DVD-RAMドライバおよびソフトウェアをインストールしてください。



説明画面 (DVD-RAM ドライバの例)

DVD-RAM ドライバのインストール

インストール前のご注意

Windows XP、2000 をご使用の場合は、管理者権限のあるユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてコンピュータにログオンしておいてください。

インストール手順

はじめに、付属の「SoftwarePack」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、自動起動するセットアップランチャーから DVD-RAM ドライバの左側のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



右の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。

「インストール」ボタンをクリック



この後の作業は、ご使用の OS により異なります。次ページ以降で、OS 別のインストール手順をご説明いたしますので、該当するページをご参照ください。

Point

ポイント

セットアップ画面が自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。ここで入力する「Q:」は CD-ROM がセットされている CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。

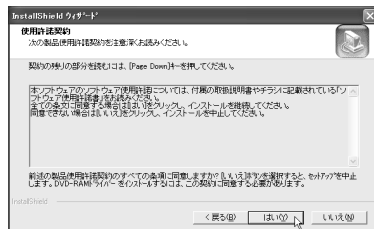
Windows XP の場合

Windows XP の場合、本ドライバをインストールしなくても、FAT 32 形式で DVD-RAM メディアへの書き込みが可能です。ただし、その場合、UDF 形式のメディアを使用することができません。UDF 形式の DVD-RAM メディアも使用する場合、以下の手順でドライバのインストールを行ってください。

右の画面が表示されますので「次へ」をクリックしてください。

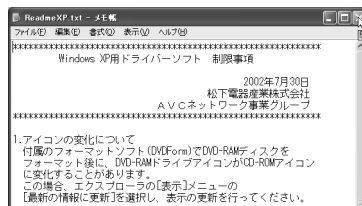


使用許諾契約画面が表示されます。本書 2 ページの「ロジックソフトウェア使用許諾契約書」の内容を確認し、同意される場合は「はい」ボタンをクリックしてください。



この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

インストール中に、ReadmeXP.txt が表示されるので、内容確認後ファイルを閉じてください。



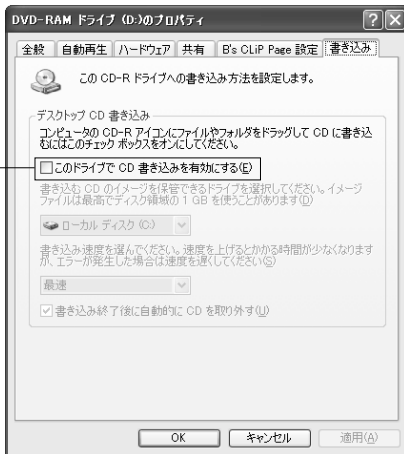
インストールの最後に右の画面が表示されますので「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して「完了」をクリックしてください。



コンピュータが再起動したら、最後に、DVD-RAM メディアに書き込むための設定を行います。「スタート」 - 「マイコンピュータ」と選択しマイコンピュータを開いてください。

マイコンピュータから本製品のアイコンを右クリックして、ドライブのプロパティで「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックをオフにしてください。

チェックをオフにします



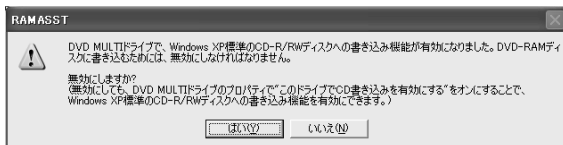
以上でドライブのインストールとDVD-RAMメディアへの書き込みの設定は終了です。これで DVD-RAM メディアが使用可能となります。

39 ページのインストール結果の確認を参照して、ドライブが正しくインストールされたことを確認してください。

Point ポイント

オフの状態では Windows XP 標準の CD-R、CD-RW メディアへの書き込み機能は使用できません。CD-R、CD-RW メディアへ書き込みを行うときは「このドライブで CD 書き込みを有効にする」をオンにしてください。

オンにすると、下の画面が表示されますので「はい」をクリックしてください。

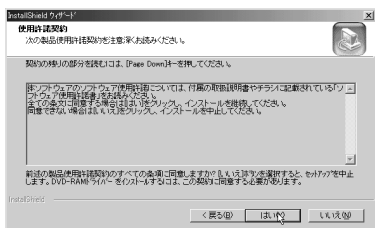


Windows Me、98 Second Edition の場合

右の画面が表示されますので「次へ」をクリックしてください。



使用権許諾契約画面が表示されます。本書 2 ページの「ロジックソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を確認し、同意される場合は「はい」ボタンをクリックしてください。



この後は画面の指示に従ってインストールを進めます。

インストールの最後に右の画面が表示されますので「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して「完了」をクリックしてください。



再起動後 DVD-RAM メディアが使用可能となります。

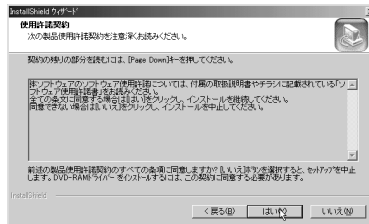
39 ページのインストール結果の確認を参照して、ドライバが正しくインストールされたことを確認してください。

Windows 2000 の場合

右の画面が表示されますので「次へ」をクリックしてください。



使用権許諾契約画面が表示されます。本書 2 ページの「ロジックソフトウェア使用権許諾契約書」の内容を確認し、同意される場合は「はい」ボタンをクリックしてください。



この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

インストールの最後に右の画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。



DVD-RAM デバイスの検出が行われ、検出後「システム設定の変更」画面が表示されます。



「はい」をクリックしてパソコンを再起動します。

再起動後、また再起動を促すメッセージが表示された場合は、再度「はい」をクリックしてください。

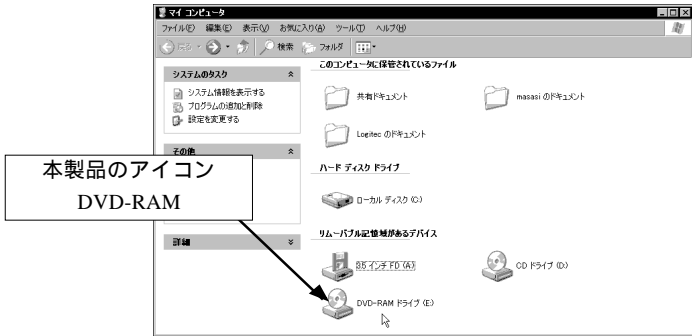
再起動後 DVD-RAM メディアが使用可能となります。39 ページのインストール結果の確認を参照して、ドライバが正しくインストールされたことを確認してください。

DVD-RAM ドライバのインストール結果の確認

マイコンピュータ上での確認

Windows XP

インストール後、システムが再起動されたら、「マイコンピュータ」上に「DVD-RAM」のアイコンが追加されています。



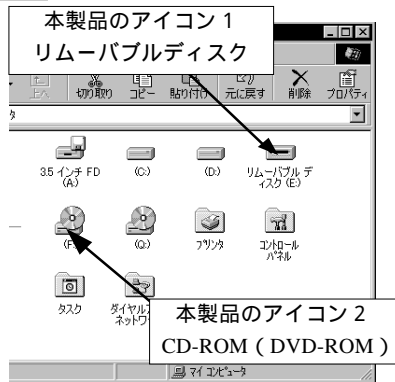
Windows Me , 98 Second Edition , 2000

インストール後、システムが再起動されたら、「マイコンピュータ」上に新しい「リムーバブルディスク」のアイコンと、「CD-ROM (DVD-ROM)」のアイコンが追加されています。

セットするメディアにより、対応するアイコンが異なります。

DVD-RAM にアクセスする場合は、「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックします。

DVD-RAM 以外のメディアにアクセスする場合は、CD-ROM (DVD-ROM) のアイコンをダブルクリックします。



これらのアイコンが表示されない場合は「表示」メニューの「最新の情報に更新」を選択してみてください。

デバイスマネージャでの確認

本製品がパソコン側から正常に認識されるとWindowsのデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows XP、2000の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

Windows Me、98の場合、「コントロールパネル」「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

OS	項目	登録されるデバイス名
	USB 接続時	
Windows XP	DVD/ CD- ROM ドライブ	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B USB Device
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
Windows Me	CD-ROM	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	記憶装置	USB CD- ROM
Windows 98 SE	CD-ROM	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B
	ハードディスクコントローラ	Logitech USB Mass- Strage Class Miniport Driver
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	Logitech USB Mass- Strage Class WDM Driver
Windows 2000	DVD/ CD- ROM ドライブ	CD- ROMドライブ
	DVD- RAM デバイス	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	光ディスクドライブ
	記憶域ボリューム	汎用ボリューム
	SCSI 接続時	
Windows XP	DVD/ CD- ROM ドライブ	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B SCSI Cd- Rom Device
Windows Me	CD-ROM	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B
Windows 98 SE	CD-ROM	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B
Windows 2000	DVD/ CD- ROM ドライブ	HL- DT- ST DVD-RAM GSA- 4040B SCSI Cd- Rom Device

本製品がパソコン側から正しく認識されていることを確認したら、次にソフトウェアのインストールをします。次ページへお進みください。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのご紹介

本製品にはDVDビデオの作成や再生、記録可能なDVD/CDメディアへの書き込みに対応したソフトウェアが添付されています。用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。なお、各ソフトウェアが対応するメディアおよび記録方式に関しては74ページをご参照ください。

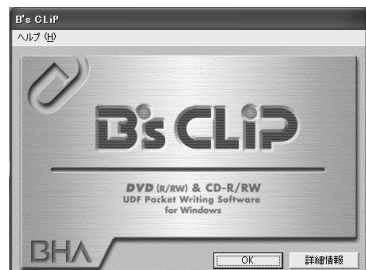
B's STUDIO「D」(DVDソリューション)

映像のキャプチャからDVD±R、RWメディアへの書き込みまでをサポートする「B's neoDVD」と、オリジナルDVDやCDの作成、DVDやCDのバックアップ用途に最適なDVD±R/RW、DVD-RAM、CD-R/RWメディア対応の「B's Recorder GOLD BASIC」の2つのソフトウェアをパッケージにしたDVDソリューションソフトウェアです。「B's Recorder GOLD BASIC」では、データの登録から書き込みまでの作業が一画面で完結する「ウィザード機能」で、簡単にDVDやCDを作ることができます。



B's CLiP (パケットライト)

書き込みのために、アプリケーションを起動する必要がありません。ドラッグアンドドロップで簡単に書き込みを行うことができます。



DVD-MovieAlbumSE (DVD ビデオレコーディング)

DVD-RAMメディアへビデオレコーディングフォーマットで編集・書き込みを行うソフトウェアです。パソコン上でDVDビデオレコーダと互換性のあるディスクを編集・作成し、市販のDVDビデオレコーダ(RAM対応のもの)で再生可能です。また、書き込みを行ったデータは、映像ファイルとしてパソコン上に保存することができます。



B's ラク～だ！バックアップ (高性能バックアップソフト)

Windows のシステムがインストールされているドライブを、まるごとDVD ± R/RW、CD-R/RWメディアへバックアップできます。



Power Director STD (OEM版) (動画編集)

テレビやビデオ、DVカメラの録画・編集・ファイル変換が可能なビデオ編集ソフトです。サイバリンク社のスマートビデオレンダリング(SVRT)でスピーディな動画編集を行うことができます。



PowerDVD (OEM版) (DVDビデオ再生)

パソコン上でDVDビデオの再生を行うためのソフトウェアです。



インストール方法

ソフトウェアインストールの前に本書2ページの「ソフトウェア使用権許諾契約書」をお読みください。許諾内容に合意される場合のみ、付属の各ソフトウェアをご使用いただけます。なお、インストールされた場合は許諾内容に合意されたものといたします。

インストールの前に

インストールに必要なもの

「SoftwarePack」CD-ROM

インストールの際のご注意

- ・ DVD-RAMドライバがインストールされていない場合は、先にインストールしてください。(34ページ参照)
- ・ ご使用のパソコンに本製品付属のB's CLiP以外のパケットライティングソフトウェアやUDFファイルシステムがインストールされている場合は、あらかじめ削除しておいてください。
DVD-RAMドライバソフトを、B's CLiP以外の他社製パケットライティングソフトと重複してインストールすると、正常に動作しない場合があります。
- ・ Windows XP、2000 をご使用の場合は、管理者権限のあるユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等）としてコンピュータにログオンしてください。
- ・ 「PowerDirector」「PowerDVD」「B's ラク～だ！バックアップ」の各ソフトウェアインストール中に、シリアル番号やCD-keyの入力を求めるメッセージが表示されます。その場合は、インストールしているソフトウェアのシリアル番号またはCD-keyを入力してください。各ソフトウェアのシリアル番号またはCD-keyは、本書巻末に記載されています。
シリアル番号は、すべて半角で入力してください。

インストール手順

ここでは、一度にすべてのソフトウェアをインストールする手順についてご説明いたしますが、ご使用の環境により、インストールする必要のないソフトウェアがある場合は、その部分をスキップして、次のソフトウェアのインストール手順の説明へお進みください。

1. DVD-MovieAlbumSE

1-1

付属の「SoftwarePack」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、セットアップランチャーが表示されたら、「DVD-MovieAlbumSE」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



1-2

「DVD-MovieAlbumSE」の説明画面に切り替わります。

「インストール」ボタンをクリックしてください。

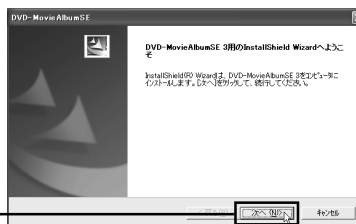
「インストール」ボタンをクリック



1-3

インストールウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

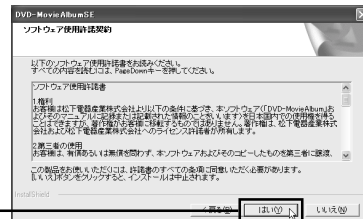
「次へ」ボタンをクリック



1-4

ソフトウェア使用権許諾契約画面が表示されます。内容をよくご確認の上「はい」ボタンをクリックしてください。

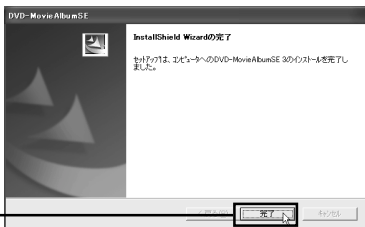
「はい」ボタンをクリック



このあとは画面の指示に従いインストールを進めてください。

1-5

インストールの最後に右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。



「完了」ボタンをクリック

2. B's STUDIO「D」

2-1

セットアップランチャーから、『B's STUDIO「D」』のボタンをクリックしてください。



このボタンをクリック

2-2

『B's STUDIO「D」』の説明画面に切り替わります。「インストール」ボタンをクリックしてください。



「インストール」ボタンをクリック

2-3

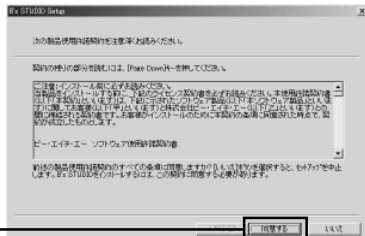
セットアップウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



「次へ」ボタンをクリック

2-4

ソフトウェア使用権許契約画面が表示されます。内容をよくご確認の上「同意する」ボタンをクリックしてください。



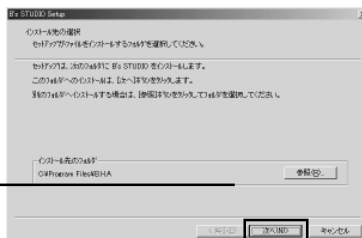
「同意する」ボタンをクリック

ソフトウェアのインストール インストール方法

2-5

インストール先の選択画面が表示されます。そのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」ボタンをクリック



2-6

インストールが終了すると、右の画面が表示されます。この後にまだソフトウェアをインストールするので、ここでは「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」にチェックを入れて、「完了」ボタンをクリックしてください。

1. 「いいえ、あとで・・・」を選択
2. 「完了」ボタンをクリック



3. PowerDirector

3-1

セットアップランチャーから、「PowerDirector」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



3-2

「PowerDirector」の説明画面に切り替わります。

「インストール」ボタンをクリックしてください。

「インストール」ボタンをクリック



3-3

インストールウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」ボタンをクリック



3-4

ソフトウェア使用権許契約画面が表示されます。内容をよくご確認の上「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」ボタンをクリック

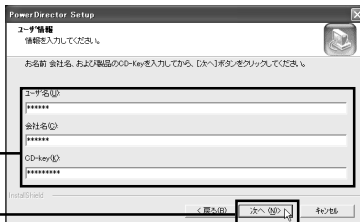


3-5

ユーザ情報登録画面が表示されます。「ユーザ名」「会社名」「CD-key」を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 必要な情報を入力

2. 「次へ」ボタンをクリック



CD-KEY は本書巻末に記載されていますので、そちらをご参照ください。

このあとは画面の指示に従いインストールを進めてください。

Point ポイント

インストール中に、作業領域を指定する画面が表示されます。

ご使用のパソコンに複数のハードディスクがある場合や、ハードディスクをパーティションで区切っている場合は、なるべくWindowsのシステムがインストールされていない領域を作業領域にすることを勧めます。



インストールの途中で、QuickTime5のインストール画面が表示されます。システムに「QuickTime5」がインストールされていない場合は「Next」をクリックして、画面の指示に従いインストールを行ってください。(すでにシステムに「QuickTime5」以降がインストールされている場合は「Cancel」をクリックします)



ソフトウェアのインストール インストール方法

3-6

インストールが終了すると右の画面が表示されます。
「完了」ボタンをクリックしてください。

「完了」ボタンをクリック



説明 (Readme) ファイルを読む場合、ユーザ登録を行う場合は、上の画面でそれぞれのチェックボックスにチェックを入れます。

4. PowerDVD

4-1

セットアップランチャーから、「PowerDVD」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



4-2

「PowerDVD」の説明画面に切り替わります。
「インストール」ボタンをクリックしてください。

「インストール」ボタンをクリック



4-3

インストールウィザードが起動します。
「次へ」ボタンをクリックしてください。

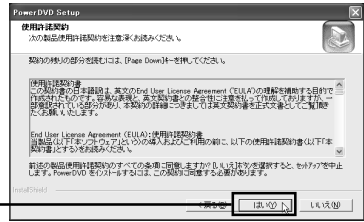
「次へ」ボタンをクリック



4-4

ソフトウェア使用権許契約画面が表示されます。内容をよくご確認の上「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」ボタンをクリック



4-5

ユーザ情報登録画面が表示されます。「ユーザ名」「会社名」「CD-key」を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 必要な情報を入力

2. 「次へ」ボタンをクリック



CD-Key は本書巻末に記載されていますので、そちらをご参照ください。

このあとは画面の指示に従いインストールを進めてください。

4-6

インストールが終了すると右の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。

「完了」ボタンをクリック



説明 (Readme) ファイルを読む場合、ユーザ登録を行う場合は、上の画面でそれぞれのチェックボックスにチェックを入れます。

5. B's ラク～だ！バックアップ

5-1

セットアップランチャーから、「B'sラク～だ！バックアップ」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



ソフトウェアのインストール インストール方法

5-2

「B'sラク～だ！バックアップ」の説明画面に切り替わります。

「インストール」ボタンをクリックしてください。

「インストール」ボタンをクリック

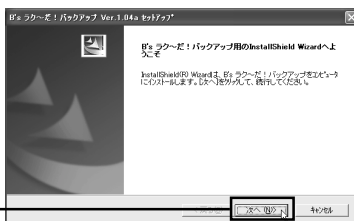


5-3

インストールウィザードが起動します。

「次へ」ボタンをクリックしてください。

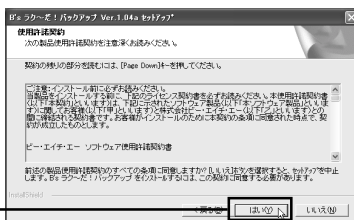
「次へ」ボタンをクリック



5-4

ソフトウェア使用権許契約画面が表示されます。内容をよくご確認の上「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」ボタンをクリック



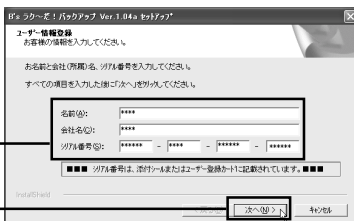
5-5

ユーザー情報登録画面が表示されます。

「名前」「会社名」「シリアル番号」を入力して「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. 必要な情報を入力

2. 「次へ」ボタンをクリック



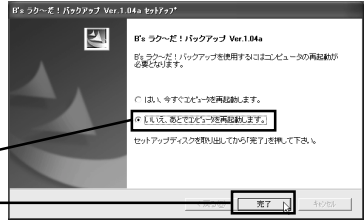
シリアル番号は本書巻末に記載されていますので、そちらをご参照ください。

このあとは画面の指示に従いインストールを進めてください。

5-6

インストールが終了すると、右の画面が表示されます。次に「B's CLiP」をインストールするので、ここでは「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」にチェックを入れて、「完了」ボタンをクリックしてください。

1. 「いいえ、あとで・・・」を選択
2. 「完了」ボタンをクリック



6. B's CLiP

6-1

セットアップランチャーから、「B's CLiP」のボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



6-2

「B's CLiP」の説明画面に切り替わります。「インストール」ボタンをクリックしてください。

「インストール」ボタンをクリック



6-3

インストールウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。

「次へ」ボタンをクリック

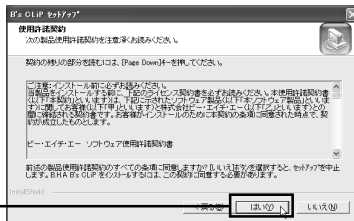


ソフトウェアのインストール インストール方法

6-4

ソフトウェア使用権許契約画面が表示されます。内容をよくご確認ください。「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」ボタンをクリック



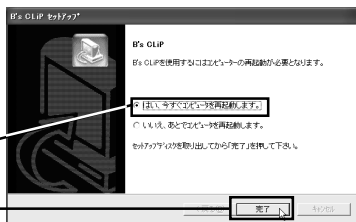
この後は画面の指示に従いインストールを進めてください。

6-5

インストールが終了すると、右の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します」にチェックを入れて、「完了」ボタンをクリックしてください。

1. 「はい、今すぐ・・・」を選択

2. 「完了」ボタンをクリック



再起動後、インストールしたすべてのソフトウェアが使用可能となります。以上で、ソフトウェアのインストールは終了です。CD-ROMドライブから、「SoftwarePack」CD-ROMを取り出しておいてください。

各ソフトウェアの使用方法については、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルまたはヘルプファイルをご参照ください。(参照方法につきましては73ページの「ソフトウェアのマニュアルを参照するには」に記載されています)

補足 B's STUDIO「D」の起動方法について

B's STUDIO「D」インストール後に、「B's neoDVD」または「B's RECORDER GOLD BASIC」を起動するには、以下の手順をご参照ください。

起動手順

「スタート」 「プログラム」(Windows XPの場合は「すべてのプログラム」)
「B.H.A」 「B's STUDIO」と選択します。

または、デスクトップに作成されたB's STUDIOアイコンをダブルクリックします。



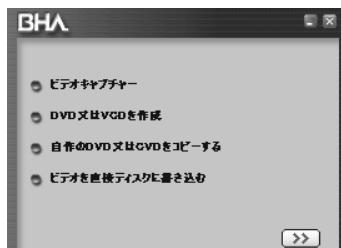
「B's タスクバー」が表示されますので、「B's neo DVD」を起動したい場合は「VIDEO」ボタンを、「B's RECORDER GOLD」を起動したい場合は「RECORD」ボタンをクリックしてください。



起動するソフトウェアに応じてそれぞれの
ボタンをクリック

「VIDEO」ボタンをクリックした場合は、右のメニューが表示されるので、目的に応じて、「ビデオキャプチャー」「DVD又はVCDを作成」「自作のDVD又はVCDをコピーする」「ビデオを直接ディスクに書き込む」を選択してください。

「B's neoDVD」がそれぞれのモードで起動します。



「RECORD」ボタンをクリックした場合は、右のメニューが表示されるので、「Audio CD又はDataCDの作成」を選択してください。

「B's RECORDER GOLD BASIC」が起動します。



取り扱いについて

メディアのセットと取り出し

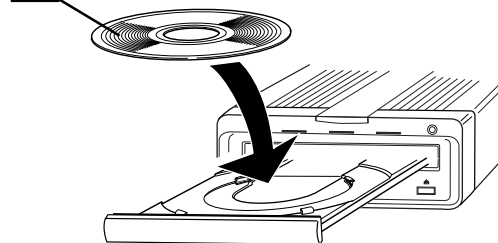
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

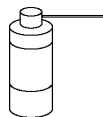
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、マイコンピュータ上から本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を実行してください。

タイトル面を上にします。



！ ご注意

- ・本製品でカートリッジ付きDVD-RAMメディアをご使用になる場合は、いったんカートリッジから取り出して直接メディアを本製品にセットしてください。TYPE1のDVD-RAMメディアはカートリッジからメディアの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナーでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。



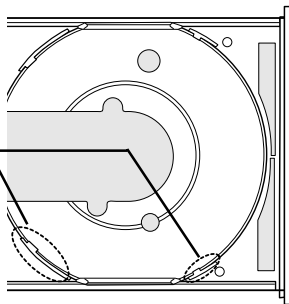
ダストクリーナー

- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ



縦方向で設置した場合、8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。

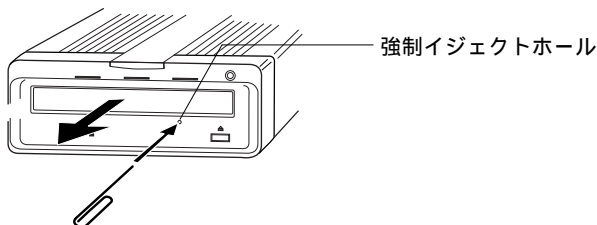
メディアが取り出せなくなった場合

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まず本製品のアクセス表示ランプが点灯していないことをチェックしてください。点灯していない場合には、セットしているメディア内のファイルを全て終了して一度ケーブルをパソコン本体から外し、本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制排出することができます。これを行なうときには、必ず本製品の電源をOFFにしてください。

大きめのクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押し込んでください。

トレイが2～3cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・本製品の電源がONになっている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。
- ・Windows環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態ではトレイを排出することができません。

取り外しについて

本製品の取り外しは、接続に使用しているインターフェースにより異なります。

SCSI 接続で本製品をご使用の場合は、必ずコンピュータの電源を OFF にしてから本製品の取り外しを行ってください。

USB 接続で本製品をご使用の場合は、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用している USB 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

USB 接続では上記の点を確認したら、アンプラグという操作を行って本製品の取り外しを行ってください。アンプラグ手順は以下をご参照ください。

アンプラグ手順（USB 接続時のみ）

本製品にセットされたメディアのアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。以下を参照してください。）



表示されるメッセージ

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ(F: E:)の停止」

Windows 98 Second Edition の場合

「HL-DT-ST DVDRAM GSA-4040B を止める : ドライブ (F:) の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:,F:) を停止します」

Point

ポイント

いずれの場合も「E:」「F:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。
OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point

ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブルを取り外し、本製品の電源を OFF にして、電源コードをコンセントから抜いてください。

使用方法について

全般的な注意事項（重要）

1. DVD-RAM メディアを使用して書き込みを行う場合は、必ずメディアのフォーマットを行っておいください。

フォーマットの種別は書き込み用途により異なります。本製品付属のフォーマットソフトウェアを使用して、以下のようにフォーマットを行ってください。

パソコンのデータ記録用に使用する場合は、フォーマット種別で「ユニバーサルディスクフォーマット (UDF 1.5)」を選択してください。

AVデータを記録する用途で使用する場合はフォーマット種別で「ユニバーサルディスクフォーマット (UDF 2.0)」を選択してください。

フォーマットソフトウェアの用法については、次ページ以降の「DVD-RAM メディアの取り扱い」をご参照ください。

2. 目的に合ったソフトウェアをご使用ください。

メディアにPCデータを書き込む場合と、映像を書き込む場合、DVD-RAM メディアを使用する場合とその他のメディアを使用する場合は、使用するソフトウェアが異なる場合があります。66 ページ以降を参照して、目的に応じて適切なソフトウェアを使用して書き込みを行ってください。

DVD-RAM メディアの取り扱い

フォーマット方法

ここでは、ドライバと共にインストールされたフォーマッタを使用して、DVD-RAMメディアのフォーマットを行う方法をご説明します。DVD-RAMメディアにデータを書き込むためには論理フォーマットを行う必要があります。論理フォーマットを行ったDVD-RAMメディアはFDやMOと同じ感覚でファイルを書き込むことができます。

本製品はベリファイ（確認）機能を持っています。この機能はデータの記録時に記録セクタを確認し、記録状態の悪いセクタから自動的にデータを退避させる機能で、信頼性の高い記録を実現します。

フォーマット時のご注意

両面タイプのDVD-RAMメディアは片面ごとにフォーマットする必要があります。ディスクタイプ識別データが「カートリッジなしディスク記録許可」になっていない5.2GB（両面）/2.6GB（片面）カートリッジなしDVD-RAMメディアはフォーマットできません。

フォーマッタを起動する前に、DVD-RAMメディアを使用中の全てのアプリケーションを終了してください。

Windows XP/2000をご使用の場合は管理者権限のあるユーザー（「コンピュータの管理者」や「Administrators」）としてログオンしてください。

B's Recorder GOLD BASICで記録したDVD-RAMメディアはフォーマットできません。B's Recorder GOLD BASICの「メディアの全体を消去」を実行してください。

フォーマット手順

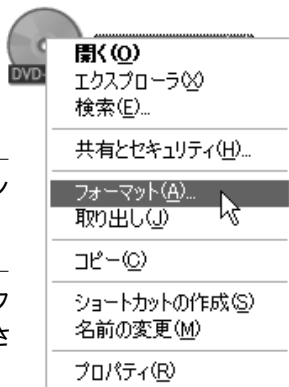
1. フォーマッタソフトの起動

Windows XP

フォーマットする DVD-RAM メディアを本製品にセットします。

「マイコンピュータ」を開き本製品のアイコンを右クリックします。

表示されるメニューから「フォーマット」をクリックしてください。(下の起動画面が表示されます。)



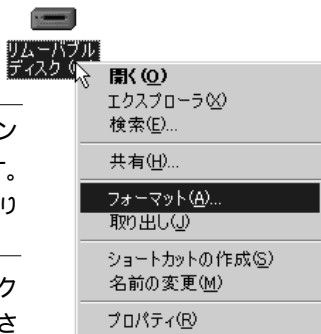
Windows Me , 98 Second Edition , 2000

フォーマットする DVD-RAM メディアを本製品にセットします。

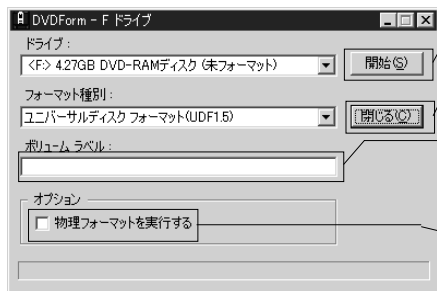
「マイコンピュータ」を開き本製品のアイコン(リムーバブルディスク)を右クリックします。

RAM メディアにはリムーバブルディスクが割り当てられます。

表示されるメニューから「フォーマット」をクリックしてください。(下の起動画面が表示されます。)



起動画面



フォーマットを開始します。

DVDFormを終了します。

UDF形式でフォーマットする場合に入力します。

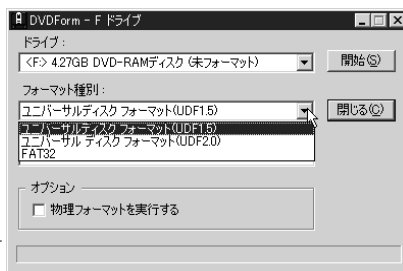
物理フォーマット時にチェックします。通常チェックする必要はありません。物理フォーマットには1時間程度がかかります。

2. フォーマット手順

右の画面からフォーマット種別を選択します。

ユニバーサルディスクフォーマットを選択した場合、ボリュームラベルを入力してください。

「開始」をクリックします。



3. 推奨フォーマットについて

パソコンのデータ記録用に使用する場合は、フォーマット種別で「ユニバーサルディスクフォーマット (UDF 1.5)」を選択してください。

AV データを記録する用途で使用する場合はフォーマット種別で「ユニバーサルディスクフォーマット (UDF 2.0)」を選択してください。

Point ポイント

フォーマットした DVD-RAM メディアを「DVD-MovieAlbumSE」で使用する場合は、必ず UDF 2.0 でフォーマットしてください。

! ご注意

フォーマット後、DVD-RAM のアイコンが CD-ROM のアイコンに変わる場合があります。そのような場合は、エクスプローラの「表示」メニューで「最新の情報に更新」を選択して、表示を更新してください。

4. フォーマット形式について

ユニバーサルディスク フォーマット (UDF1.5)	DVD-RAMの標準フォーマット形式です。異なるOS間でのデータ交換に最適です。(注1) UDF 1.5形式のDVD-RAMメディアは、DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダや、同規格準拠のパソコン用記録ソフトは使用できません。
ユニバーサルディスク フォーマット (UDF2.0)	DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダや同規格準拠のパソコン用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。
FAT32	Windows 95 OSR2 (注2)以降のWindows専用のフォーマット形式です。 FAT32形式でフォーマットしたDVD-RAMメディアはWindows 95 (OSR2以外)、Windows NTでは使用できません。

注1) フォーマットしたメディアをMacintoshシリーズで使用する場合、UDF 1.5形式で読み書きができるのはMac OS 9のみです。Mac OS Xでの読み書きは、動作保証の対象外となります。

注2) システムのバージョンが「4.00.950B」または「4.00.950C」のものがWindows 95 OSR2となります。それ以外のバージョンのもの(OSR2以外)では使用できません。(バージョンは、「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」を開くと確認できます。)

フォーマット後の使用可能容量

ディスク種別	フォーマット形式	空き容量	OSと使用容量	
			Windows Me/98	Windows 2000/XP
4.7GB 9.4GB (*1)	UDF1.5	4.26GB (*2)	384KB	282KB
	UDF2.0	4.26GB (*2)	384KB	282KB
	FAT32	4.25GB (*2)	4KB	4KB
1.4GB 2.8GB (*1)	UDF1.5	1.3GB	96KB	92KB
	UDF2.0	1.3GB	96KB	92KB
	FAT32	1.3GB	4KB	4KB

*1 片面あたりの値になります。

*2 DVD-RAMメディア製造メーカーにより、若干の誤差があります。

5. DVD ビデオレコーダで記録された DVD-RAM メディアについて

DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダや、DVD ビデオカメラおよび同規格準拠の「DVD-MovieAlbumSE」等のパソコン用記録ソフトで記録された DVD-RAM メディア上には「DVD_RTAV」フォルダが作成され、フォルダ内にビデオレコーディング規格の各種ファイルが作成されています。パソコン上ではこのフォルダやファイルにアクセスしないでください。

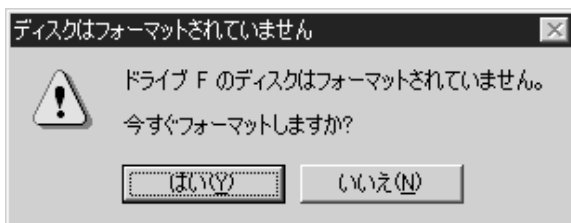
フォルダ内のファイルは 2GB を超えるものがあります。このようなファイルは Windows の仕様上の制限により、コピーができなかったり、容量が正しく表示されない場合があります。

このフォルダやフォルダ内のファイルを削除・変更すると、DVD ビデオレコーダやパソコン用記録ソフトで再生ができなくなります。

パソコン上でこれらのファイルにアクセスするには、DVD-MovieAlbumSE をご使用ください。DVD ビデオレコーダや、DVD-MovieAlbumSE で作成したデータのコピーは、DVD-MovieAlbumSE 付属のコピーツールをご使用ください。

！ ご注意

Windows Me/98 Second Edition で画面上に以下のメッセージが表示され、「はい」をクリックしたあとに起動する Windows 標準のフォーマットソフトでは DVD-RAM メディアのフォーマットは行わないでください。



Windows Me/98 Second Edition 付属の標準フォーマットソフトでフォーマットしたメディアは、後の使用で支障をきたす場合があります。

DVD-RAM メディアへの書き込み禁止・許可

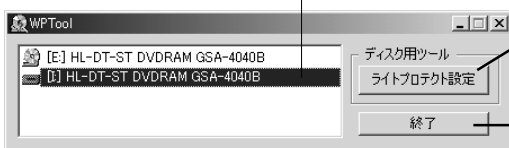
ここでは、ドライブと共にインストールされたライトプロテクトツールを使用して、DVD-RAMメディアのソフトウェアライトプロテクトの設定・解除方法についてご説明いたします。

起動方法

「スタート」 「プログラム」(Windows XP ではすべてのプログラム)
「DVD-RAM」 「DVD-RAM ドライバー」 「WPTool」を選択してください。

以下の画面が表示されます。ドライブにDVD-RAMメディアをセットして使用するドライブを選択し、「ライトプロテクト設定」ボタンをクリックしてください。

ドライブを選択します。



DVD-RAM メディアの
ライトプロテクトを設
定・解除します。

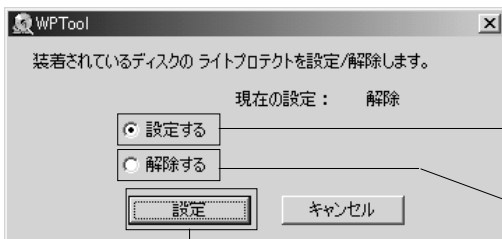
WPToolを終了します。

使用方法について

「ライトプロテクト設定」の使いかた

ライトプロテクトを設定・解除したい4.7GB DVD-RAMメディア、8cm DVD-RAMメディアを本製品にセットし、上の画面から「ライトプロテクト設定」をクリックします。

以下の画面が表示されます。中央のラジオボタンで「設定する」または「解除する」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。以上で設定は終了です。



「設定する」を選択すると、DVD-RAM
メディアは読み込み専用となります。

「解除する」を選択すると、DVD-RAM
メディアは書き込み・読み込み可能と
なります。

選択した設定を確定します。

ファイルのコピーやフォーマットができないとき

以下の点をお確かめください。

原因	対処方法
メディアにライトプロテクトが設定されている。	ライトプロテクトツール（64 ページ参照）を使用してメディアのライトプロテクトを解除してください。
カートリッジなしの状態での記録をサポートしていないメディアである。	本製品ではカートリッジなしの記録をサポートしていないメディアはご使用になれません。カートリッジなしの記録をサポートしているメディアをご使用ください。
メディアの汚れなどで記録予備領域（交替領域）を90%以上使用し、本製品が自動的に書き込み禁止状態になっている。	再生専用として使用するか、メディア内のデータのバックアップを取り、メディアのお手入れをして、物理フォーマットすることをお勧めします。
B's Recorder GOLD BASICで記録したDVD-RAMメディアをフォーマットしようとしている。	B's Recorder GOLD BASICで記録したDVD-RAMメディアはフォーマットできません。B's Recorder GOLD BASICの「メディアの全体を消去」を実行してください。

パソコンのデータを書き込むには

ご使用になるメディアにより、パソコンのデータを書き込む方法が異なります。以下をご参照ください。

DVD-RAM メディアに書き込む

DVD-RAMメディアはMOメディアなどと同様に、マイコンピュータ/エクスプローラ上で読み書きを行うことができるので、大容量4.7GBのメディアの記録領域を手軽に使用することができます。

この場合、付属のソフトウェアを使用する必要はありません。本製品のアイコンにそのままコピーしたいファイルやフォルダをドロップすればデータを書き込むことができます。

書き込みの際に注意しなければならないのは、Windows Me、2000、98 Second Editionの場合は、マイコンピュータにCD-ROMのアイコンとリムーバブルディスクのアイコンが登録される点です。DVD-RAMメディアをセットし、書き込みを行いたいときは、「リムーバブルディスク」のアイコンにデータをドロップしてください。

その他のメディアに書き込む

DVD ± R/RW メディアへデータを書き込みたい場合は、付属の「B's Recorder GOLD BASIC」または「B's CLiP」を使用します。また、Windowsのシステムをまるごとバックアップする場合は、「B's ラク～だ！バックアップ」を使用します。



ご注意

B's CLiPは、他社製のバケットライティングソフトと同時には使用できません。他社製のバケットライティングソフトがインストールされている場合はそのソフトをアンインストール（削除）する必要があります。

Windows XPで、エクスプローラの書き込み機能を使用する場合はB's CLiPをインストールしないでください。この2つの機能も重複して使用することはできません。（Windows XPでのエクスプローラ上からの書き込みは、DVD ± R/RW メディアには対応していません）

映像を書き込むには

本製品はDVD-RAMメディア、DVD ± R/RWメディアのいずれにも、映像を記録することができます。また、各規格に対応した市販のDVDプレーヤでの再生も可能です。また、付属のPowerDVDを使用すれば、パソコン上で再生することもできます。

DVD-RAMメディアとDVD ± R/RWメディアはそれぞれ規格が異なるため、DVDビデオの作成・書き込みの際に使用するソフトウェアに別々の物を使用します。ここでは、それぞれの規格で使用するソフトウェアと、DVカメラなどから取り込んだ映像を編集し書き込むまでの概要をご説明します。

DVD-RAMメディアへの映像の書き込みには「DVD-MovieAlbum SE」を使用します。

DVD ± R/RWメディアへの映像の書き込みには「B's neoDVD」を使用します。

各ソフトウェアのより詳しい機能・使用方法などについては、電子データで提供されている各ソフトウェアのマニュアルまたはヘルプファイルをご参照ください。



ご注意

DVD-RAMメディアへ映像を記録する場合、DVD-RAM Ver 2.0、Ver2.1のDVD-RAMメディア以外のご使用になれません。Ver 1.0(片面2.6GB、両面5.2GB)のDVD-RAMメディアは使用できません。

DVD-RAM メディアを使用する場合

DVD-RAM メディアを使用すると、DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」に対応したビデオレコーディング編集・記録を行うことができます。

作成に使用するソフトウェア

PowerDirector (OEM版) / DVD-MovieAlbumSE

作成の手順

1. キャプチャする (PowerDirector)

はじめにDVD-RAM メディアへ書き込みを行いたい映像ファイルを AVI ファイル形式でパソコンに取り込みます。

映像ファイルの取り込みはご使用の DV カメラをパソコンに接続して、「Power Director」を使用して行います。



ご注意

この時に注意しなければならないのは、Power Director で AVI ファイルを書き出す場合、標準で「TYPE 」が選択されているので、これを「TYPE 」に選択しなおさなければならない点です。これを行わなければ、この後の映像の編集・書き込みを行うソフトウェアDVD-MovieAlbumSE で映像ファイルを扱うことができません。

「TYPE 」での保存方法は71 ページにてご説明していますので、キャプチャを行う際にご参照ください。

2. 映像素材を編集する (PowerDirector)

次にパソコンに取り込んだ映像を編集します。編集にもPowerDirectorを使用します。編集作業では、例えば映像の前後をカットしたり、タイトル文字を入れたり、BGM をつけるといった作業ができます。

3. DVD-RAM へ書き込み (DVD-MovieAlbumSE)

最後に編集した素材を「DVD-MovieAlbumSE」を使用して DVD-RAM メディアへ書き込みます。書き込みを行う前に映像の順番を並び替えることができます。また、ビデオレコーディング規格で書き込んだ映像データは、ランダムアクセス可能な DVD-RAM メディアの特性を生かして、後で再編集することができます。



ポイント

「ビデオレコーディング規格」で書き込まれた DVD-RAM メディアは、同規格および DVD-RAM の再生に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダで再生することができます。

DVD ± R/RW メディアで DVD ビデオを作成する場合

ここでは DVD ビデオを作製する際の概要についてご説明いたします。実際の各ソフトウェアの操作・詳細な機能などについてはそれぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルまたはヘルプファイルをご参照ください。

概要

DVD ビデオの作製は、付属のソフトウェア「B's neoDVD」および「Power Director」を使用して、次の3つの手順でおこないます。

1. キャプチャする（「B's neoDVD」または「Power Director」）
はじめに、DVD ビデオに書き込みたい映像素材をパソコンに取り込みます。
2. 編集する（「B's neoDVD」または「Power Director」）
次に、パソコンに取り込んだ映像素材を一つ一つ編集する作業があります。たとえば映像の前後をカットしたり、映像に効果音を入れたり文字を入れたりすることができます。また、2つの映像素材をつなぎ合わせるといった作業もここで行います。
キャプチャした映像をそのままDVDビデオとして保存する場合は、この編集作業は必要ありません。
3. オーサリングをして DVD に書き込む（「B's neoDVD」）
編集が終わった映像素材をDVDに書き込む前に、順番に並べ替える作業があります。この作業をオーサリングと呼びます。ここでは、映像のつなぎ目に効果を加えることはできません。再生する順番を決め再生方法の設定などを行ったら DVD ± R/RW メディアへ書き込みを行います。

映像素材をこだわって編集する場合は「PowerDirector」をご使用ください。DV カメラからの映像を取り込んで、順番を並べ替える等、それ程複雑でない作業をする場合は「B's neoDVD」でキャプチャから書き込みまでを行うことをお勧めします。

❗ ご注意

B's CLiP がインストールされた環境では、B's neoDVD を使用して書き込みを行う際、ブランクメディア(何も記録されていないメディア)をドライブにセットすると、B's CLiP のフォーマットソフトが起動することがあります。その場合には「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

ソフトウェア使用上の注意

B's Recorder GOLD BASIC

B's Recorder GOLD BASIC で書き込みを行う場合、DVD-RAM をセットした場合とそれ以外のメディアをセットした場合で、書き込み先に指定するドライブが異なります。書き込みを行う際は以下を参考に、ドライブを指定してください。

「環境設定」ボタンを押して「環境設定のプロパティ」画面で「ドライブ設定」タブをクリックし、使用中のドライブと書き込み対応メディアを確認します。

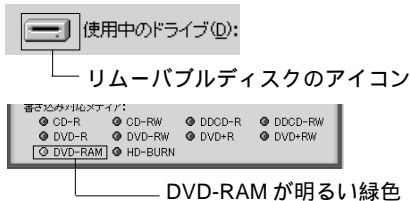


確認

確認

使用方法について

- DVD-RAM メディアへ書き込みを行うには、
- ・「使用中ドライブ」のアイコンが「リムーバブルディスク」で、
- ・書き込み対応メディア欄の「DVD-RAM」が明るい緑色で表示されるドライブを指定します。



- DVD ± R/DVD ± RW、CD-R/CD-RW メディアへ書き込みを行うには、
- ・「使用中ドライブ」のアイコンが「CD-ROM」で、
- ・書き込み対応メディア欄の「CD-R」「CD-RW」「DVD+R」「DVD+RW」「DVD-R」「DVD-RW」が明るい緑色で表示されるドライブを指定します。



PowerDirector (OEM版)

DVD-MovieAlbumSEとの組み合わせについて

PowerDirectorではAVIファイルを書き出す場合、標準で「TYPE」が選択されます。この形式はDVD-MovieAlbumSEでは扱うことができません。PowerDirectorで書き出したAVIファイルをDVD-MovieAlbumSEで扱う場合、AVIファイルを**TYPE**で書き出してください。設定方法は以下をご参照ください。

DV AVI Type での保存設定方法

ムービーの作成を選択し、「一般的なプロファイル」を「AVI」に設定し、「次へ」をクリックします。

AVIに設定

「次へ」ボタンをクリック



「AVIビデオ」をチェックし、「設定」ボタンをクリックします。

チェック

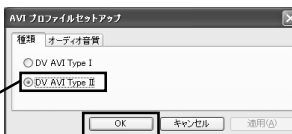
「設定」ボタンをクリック



「種類」タブにて「DV AVI Type II」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。これで、保存するファイルが「DV AVI Type II」として保存されるようになります。

選択

「OK」ボタンをクリック



手順2の画面に戻ります。「次へ」ボタンをクリックします。

この後は、作成ウィザードに従ってファイルの保存を行ってください。

「次へ」ボタンをクリック



使用方法について

DVD-MovieAlbum SE

作成したディスクについて

本製品とDVD-MovieAlbumSEの組み合わせで作成したDVDフォーラム策定のビデオレコーディング規格準拠DVD-RAMメディアは、DVD-RAM再生とビデオレコーディング規格に対応したDVDプレーヤーやDVDビデオレコーダで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使用すると、DVD-RAM再生に対応したDVD-ROMドライブやDVD-RAMドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での再生を保証するものではありません。

B'sラク～だ！バックアップ

使用できるメディアについて

B'sラク～だ！バックアップはシステムを含むディスクバックアップ機能と、ファイルバックアップ機能がありますが、この2つの機能はそれぞれ使用できるメディアが異なります。以下をご参照ください。

- ・ ディスクのバックアップ機能を使用する場合は、DVD-RAM以外のメディアをご使用ください。
- ・ ファイルのバックアップ機能を使用する場合はDVD-RAMメディアをご使用ください。

ソフトウェアのマニュアルを参照するには

各ソフトウェアのユーザーズマニュアルやヘルプファイルの参照方法は、以下をご参照ください。

B's Recorder GOLD BASIC

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
「B.H.A」 「B's Recorder GOLD BASIC」 「DOC」 「ユーザーズマニュアル」

B's CLiP

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
「B.H.A」 「B's CLiP」 「ユーザーズマニュアル」

B's neoDVD

ソフトウェア起動後に、プロジェクトウィンドウ右上の「？」ボタンをクリックして表示される一覧の中から「ヘルプ」を選択

DVD-MovieAlbumSE

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
「Panasonic」 「DVD-MovieAlbumSE」 「オンラインマニュアル」

B's ラク～だ！バックアップ

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
「B.H.A」 「B's ラク～だ！バックアップ」 「ユーザーズマニュアル」

PowerDirector

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
「CyberLink PowerDirector」 「PowerDirector User's Guide」

PowerDVD

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
「CyberLink PowerDVD」 「PowerDVD User's Guide」

DVD-RAM

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
「DVD-RAM」 「DVD-RAM ドライバー」 「DVD-RAM ディスクの使い方」

補足説明

使用可能メディアとサポート形式

メディア	サポート形式	ソフトウェア名				
		B's Recorder GOLD BASIC	B's CLiP	DVD-MovieAlbum	B's neoDVD	Power DVD
DVD-RAM	UDF / FAT 32					
	UDF Bridge	作成				
	VR			作成/再生 編集		再生
	DVD- Video				作成	再生
DVD-R	UDF		リード/ライト			
	UDF Bridge	作成				
	DVD- Video				作成	再生
DVD-RW	UDF		リード/ライト			
	UDF Bridge	作成				
	DVD- Video				作成	再生
CD-R	UDF		リード/ライト			
	データCD (ISO 9660)	作成				
	音楽CD	作成				再生
CD-RW	UDF		リード/ライト			
	データCD (ISO 9660)	作成				
	音楽CD	作成				再生
	Video CD	作成			作成	再生

*1本製品とDVD-MovieAlbumSEの組み合わせで作成したDVDフォーラム策定のビデオレコーディング規格準拠DVD-RAMメディアはDVD-RAM再生とビデオレコーディング規格に対応したDVDプレーヤやDVDビデオレコーダで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使用すると、DVD-RAM再生に対応したDVD-ROMドライブやDVD-RAMドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での再生を保証するものではありません。

*2本製品とB's neoDVDの組み合わせで作成したDVD-R (for General) DVD-RWメディアは、DVDフォーラム策定のビデオ規格準拠となります。DVD-R、DVD-RW再生に対応したDVDプレーヤで再生できます。また、DVDビデオ再生のアプリケーションソフトを使用すれば、DVD-RAMドライブや、DVD-ROMドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での動作を保証するものではありません。

*3本製品とB's Recorder GOLD BASICとの組み合わせで記録したDVD-RAMメディアは、それ以降読み出し専用のメディアとなり、ファイルやフォルダの追加・削除・移動・ファイル名変更・ボリューム名変更等のディスクへの書き込みを伴う処理が一切できなくなります。再度そのRAMメディアにデータを記録したいときは、DVD-Formを使用して物理フォーマットを実行してください。

B'sラク～だ！バックアップはDVD-RAMメディアに対してはファイルのバックアップに、それ以外のメディアに対しては、ディスクのバックアップにご使用いただけます。PowerDirectorは、DVDビデオの作成に必要なファイルを作成するソフトウェアです。メディアへの書き込み機能はありません。

トラブルシューティング

SCSI 接続時にシステムが起動しなくなる。

本製品のIDナンバーが併用している他のSCSI機器と重複していないかどうかを確認してください。

本製品がまったく認識されない。

ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。

電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。

USB接続でご使用の場合、USB 2.0インターフェースボードのドライバは正しくインストールされていますか？また、使用OSのバージョンに問題はありますか？

SCSI接続でご使用の場合、SCSIインターフェースのドライバは正しくインストールされていますか？「デバイスマネージャ」を起動して、SCSIインターフェースが認識されているかどうか、「！」マークがついていないかどうかを確認してください。ハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

USB接続でご使用の場合、BIOSセットアップでUSBが「Disabled」（無効）になっていないかどうか確認してください。

USBが使用可能な状態にあるかどうかを確認したい場合は、「デバイスマネージャ」を表示してください。（Windows ME、98SEの場合は、「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」タブをクリックします。Windows XP、2000の場合は、「コントロールパネル」（「パフォーマンスとメンテナンス」Windows XPのみ）「システム」「ハードウェア」タブ「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。）

接続されている機器の一覧表が表示されたら、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」と書かれた部分をダブルクリックして開き、そこにコントローラの名前と「USBルートハブ」が登録されているかどうかを確認してください。

この2つが正常に登録されていれば、USBは使用可能な状態にあります。この2つのどちらかがない場合、「！」マークや「x」マークがついている場合、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」自体がない場合は、パソコン本体やOSの問題でUSBが使用できない状態にあります。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。

SCSI接続の場合、本製品のIDナンバーが併用している他のSCSI機器と重複していないかどうかを確認してください。

ライティング・ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

セットしたメディアが認識されない。

裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

DVD-RAM のアクセス時にエラーが発生する。

DVD-RAM は汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってみてください。メディアの不良も考えられます。別のメディアで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するDVD-RAMのデータをバックアップして、フォーマットからやり直してください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

本製品のアクセス表示ランプが点灯しているか確認してください。点灯していない場合、いったんパソコンを再起動してみてください。それでも症状が改善されない場合は、強制イジェクトホールを使用してトレイを排出してください。強制イジェクトホールの使用方法については「メディアのセットと取り出し」(54ページ)をご参照ください。

特定のDVD-ROM / CD-ROM をアクセスできない。

そのメディアはMacintosh用のCD-ROM(HFSフォーマット)ではありませんか？

Windows環境ではMacintosh用のCD-ROMはアクセスできません。

そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つDVDビデオではありませんか？

そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生できません。

DVD-RAM に対して、Windows 98 の「スキャンディスク」を実行できない。

本製品付属のフォーマッタでUDF形式にフォーマットしたDVD-RAMに対して、Windows98標準のユーティリティ「スキャンディスク」は実行できません。

DVD-RAM に書き込みができない。

正常にフォーマットされたDVD-RAMを使用していますか？ 本製品付属のフォーマッタでフォーマットを行ってください。

Windows XP , 2000 でDVD-RAM がフォーマットできない。

管理者権限をもつユーザーとしてログオンしていますか？

DVD ビデオが再生できない。

PowerDVD は正しくインストールされていますか？

リージョンコード「2」以外のDVDビデオを再生しようとしていませんか？ これは日本以外の国を対象としたDVDビデオですので、本製品では再生できません。

リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できない。

市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW の各メディアに対応していないものもあります。ご使用の DVD プレーヤー - のカタログ・取扱説明書などをご確認ください。また、本製品で作成した DVD ビデオを再生可能な DVD プレーヤーの情報については、弊社ホームページもご参照ください。

Windows 98 環境で USB 接続時に USB ドライバをインストールしたが、マイコンピュータにアイコンが登録されない。

USB ドライバの再インストールを行う必要があります。

1. 「DVD-RAM ドライバのインストール結果の確認」(39-40 ページ)を参照しデバイスマネージャに必要なデバイスが登録されていることを確認してください。
2. 登録されていない場合、「デバイスマネージャ」ウィンドウに「?その他のデバイス」という項目と、その下に枝分かれが表示されているか確認してください。(枝分かれが表示されていない場合は、「?その他のデバイス」をダブルクリックしてください。)
3. 枝分かれの部分に「? LDR USB Device」と表示されていれば、それが誤まって認識されたドライバです。
4. 「? LDR USB Device」をクリックし、選択状態にしてから画面内の「削除」ボタンをクリックします。
5. 「コントロールパネル」を閉じ、本製品をパソコンから取り外してから、パソコンをいったん終了させます。
6. パソコンを再度起動して、Windows が起動した後、本製品を接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので、この後は本書 31 ページの「USB ドライバのインストール」を参照し、インストール手順に従って作業を行ってください。

その他：ホームページについて

- ・弊社および添付ソフトウェアの各社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社ビー・エイチ・エー

ホームページアドレス：<http://www.bha.co.jp/>

サイバーリンク株式会社

ホームページアドレス：<http://www.cli.co.jp/>

使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境（パソコン本体、メディアなど）の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社の DOS/V パソコン、および NEC PC98-NX シリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

SCSI ポートまたは USB ポートを搭載していること。(注)
(DVD ビデオの作成・再生には SCSI または USB 2.0 に対応していること)

Celeron 300MHz 以上の CPU を搭載していること。
(DVD ビデオ作成時は Pentium 700MHz 以上、DVD ビデオ再生時は Pentium 350MHz 以上の CPU が必要です)

128MB 以上のメモリを搭載していること。

ハードディスクに 5GB 以上の空き容量があること (20GB 以上を推奨)。(CD-R, CD-RW への書き込みを行う場合は 800MB 以上)

注： ノートパソコンを使用して SCSI 接続にてご使用の場合は、CardBus 対応の PC カードスロットを搭載し、弊社製 UltraSCSI 対応の SCSI インターフェースカードが動作する必要があります。(SCSI インターフェースカードについては 81 ページ「オプション品について」をご参照ください)

できるだけ高速な CPU / 大容量メモリ / 大容量 HD ドライブを搭載した環境での使用を推奨します。

対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows XP HomeEdition/Professional
Windows Me
Windows 98 SecondEdition (*1)
Windows 2000 Professional

*1 Second Edition でない Windows 98 は対象外となります。

全般的なご注意

- ・拡張インターフェース（UltraSCSIまたはUSB 2.0）用のドライバは、最新のものをご使用ください。ドライバのインストールは、拡張インターフェースに付属のマニュアルに従ってください。（OSに標準添付されているドライバは、必ずしも最新のものではありません）
- ・本製品は日本電気株式会社 PC-9800 シリーズでは使用できません。
- ・最新の情報につきましては、弊社ホームページをご参照ください。

ノートパソコンでご使用の場合のご注意

- ・拡張インターフェースカードを使用してノートパソコンで本製品をご使用の場合、メディアへ書き込みを行う際は、本製品の接続に使用する SCSI インターフェースカードまたは USB 2.0 インターフェースカード以外の PC カードは同時に使用しないでください。
- ・パソコン本体は、必ず AC アダプタを接続してご使用ください。また、システムスタンバイや、休止状態などの省電力機能は OFF にしておいてください。



ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< DVD-RAM メディア >

日立マクセル(株) 松下電器産業(株) 三菱化学(株)

< DVD+R メディア >

太陽誘電(株) (株)リコー 三菱化学(株)

< DVD+RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

< DVD-R メディア >

三菱化学(株) 太陽誘電(株)「That's シリーズ」 パイオニア(株)
富士写真フィルム

< DVD-RW メディア >

パイオニア(株) 三菱化学(株) 日本ビクター(株)
TDK (株)

< CD-R メディア >

太陽誘電(株)「That's シリーズ」 (株)リコー TDK (株)
三井化学(株) 三菱化学(株) 日立マクセル(株) 富士写真フィルム

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

DVDメディア、CDメディア共に、書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

DVD メディアにはラベル等を貼付しないでください。

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www2.ld.logitech.co.jp/>

インターフェースボード、インターフェースカード

パソコン本体に SCSI ポートまたは USB 2.0 ポートがない場合は、以下のインターフェースボード（PCIバス用インターフェースボードもしくは CardBus 対応インターフェースカード）をご使用ください。

PCIバス用 USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2N	PCI	インターフェースボード単体

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2	CardBus	インターフェースカード単体

PCIバス用 UltraSCSI インターフェースボード

SCSI インターフェース	バス	仕様	SCSI コネクタ
LHA-600S	PCI	UltraSCSI	D-subハーフピッチ50ピン

CardBus 対応 UltraSCSI インターフェースカード

SCSI インターフェース (PCカード)	バス	仕様	SCSI コネクタ
LPM-SCSI3D	Cardbus	UltraSCSI	D-subハーフピッチ 50ピン
LPM-SCSI3EH			

SCSI ケーブル

ケーブル	長さ	SCSIコネクタ
CB-51WW-003	0.3m	D-subハーフピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51WW-008	0.8m	
CB-51HW-003	0.3m	アンフェノールハーフピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HW-008	0.8m	
CB-2550D-005	0.5m	D-sub25ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HB-003	0.3m	アンフェノールフルピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HB-008	0.8m	

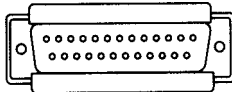
コネクタ形状



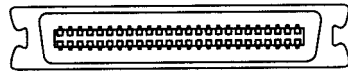
D-sub ハーフピッチ 50 ピン
(本製品のコネクタ形状)



アンフェノールハーフピッチ 50 ピン



D-sub 25 ピン



アンフェノールフルピッチ 50 ピン

USB 2.0 High-Speed 対応ケーブル

型番	長さ	備考
CB- USB2AB- 005	0.5m	シリーズ A - シリーズ B
CB- USB2AB- 010	1.0m	シリーズ A - シリーズ B

お問い合わせ用紙 送付枚数 (本用紙を含めて) 枚

お問い合わせ製品	DVD-RAM ± R/RW ユニット		LDR-H443SU2	
	シリアル			
お客様のご氏名				
会社名				
所属部課名				
住所	〒			
電話番号		FAX番号		

PC本体	メーカー		型番	
	CPU		クロック	MHz
	メモリ	MB		
接続	SCSI 接続 ・ USB接続 (USB 2.0 ・ USB 1.1)			
I/Fボード	メーカー		型番	
	ドライババージョン	Ver.		
SCSI機器 接続状況	SCSI接続の場合は、SCSIインターフェースから接続されている順に、 デバイス名とデバイスのIDナンバーを別紙に記載してください。			
OS	Windows XP ・ Me ・ 98 SecondEdition ・ 2000 ・ その他			
ハードディスク	I/F	SCSI ・ ATA Serial ATA	内蔵 ・ 外付け	
	容量		空き容量	
CD-R / RW メディア	メーカー		容量	
	書き込みモード	Disc at once ・ Track at once ・ Session at once		
	今回の書込み	新規 ・ 追記 (回目)		
書き込み速度	() 倍速			

お問い合わせの前に以下の点をチェックしてください。

- ・ご使用のI/Fボードのドライバは最新のものかメーカーに確認してください。
- ・メディアを変えてためてください。
- ・本製品と同じインターフェースに他の機器が接続されている場合は、本製品以外の機器をすべて外してためてください。

本用紙を表紙として、別紙にお問い合わせ内容を添付してください。

- ・不具合が発生している場合の作業状況と、発生までの手順を書いてください。
- ・エラーが発生している場合は、そのエラー内容をすべて書いてください。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - H443SU2
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2MB
インターフェース		Ultra SCSI USB 2.0 High-Speed (USB 1.1 互換)
コネクタ形状		D-Sub ハーフピッチ 50 ピン × 2 USB シリーズ B
ドライブメーカー		日立LGデータストレージ
アクセス 速度 *1	DVD-RAMへの書き込み	3 倍速 *2
	DVD+R への書き込み	4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD+ RWへの書き込み	2.4 倍速
	DVD- R への書き込み	4 倍速 / 2 倍速 / 標準速
	DVD- RWへの書き込み	2 倍速 / 標準速
	CD- R への書き込み	24 倍速 / 16 倍速 / 8倍速 / 4 倍速
	CD- RWへの書き込み	16 倍速 / 12 倍速 / 8倍速 / 4 倍速
	DVD-ROM の読み込み	最大 12 倍速 (single) 最大 8 倍速 (dual)
	DVD ビデオの読み込み	最大 8倍速
	DVD- RAMの読み込み	最大 3倍速 (Ver. 2.1) 最大 2倍速 (Ver. 1.0)
	DVD+ R、DVD+ RW DVD- R、DVD- RW の読み込み	最大 8倍速
CD-ROM、CD- R の読み込み	最大 32 倍速	
CD- RW の読み込み	最大 24 倍速	
記憶容量	DVD-RAM *3	片面ディスクで 4.7 GB 以下
		両面ディスクで 9.4GB 以下
		8 cm ディスクで 1.4GB/2.8GB 以下 *4
DVD+ R DVD+ RW DVD- R DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下	
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下
記録方式	DVD+ R	Sequential write 方式
	DVD- RAM DVD+ RW	Random Write 方式
		DVD- R
	DVD- RW	Disc at once 方式 Restricted Overwriting 方式 Incremental Recording 方式
		CD- R CD- RW

平均アクセスタイム *5		DVD - RAM : 165 ms 以下	
		DVD - ROM : 145 ms 以下	
		CD - ROM : 125 ms 以下	
最大データ転送速度 (I/F) *5		20 MB/s (Ultra SCSI) 480 Mbps (USB 2.0)	
メディアとの最大 データ転送速度	DVD - RAM	4.7GB / 9.4GB	2.77 MB / s
		2.6GB / 5.2GB	4.155 MB / s
		1.4GB / 2.8GB	2.77 MB / s
	DVD - ROM	最大 16200 KB / s	
	DVD+R DVD+RW DVD-R DVD-RW	最大 11000 KB / s	
	CD - ROM / CD-R	最大 4800KB / s	
	CD - RW	最大 3600KB / s	
DVD - ROM 関係	フェーズ		フェーズ 2
	リージョンコード		2 (固定)
環境条件 *6	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz	
消費電力 (定格)		16 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		160 × 59 × 280 mm *7	
質量		2.3 kg *8	
設置方向		水平 / 垂直	

*1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。記載されている速度はすべてUltraSCSIまたはUSB 2.0接続時のものとなります。USB 1.1接続時の制限事項は本書16～17ページの「使用可能なメディア」をご参照ください。

*2 3倍速対応メディア使用時。未対応のメディアをご使用の場合は2倍速となります。また、ver 1.0の2.6GB、5.2GBメディアへは書き込みはできません。読み込みのみとなります。

*3 カートリッジに入ったDVD-RAMメディアは、使用できません。カートリッジから取り出して、使用してください。

*4 水平時のみ設置可

*5 理論値

*6 ただし、結露なきこと

*7 横置き時、突起部/スタンドを除く

*8 本体のみ

